

フィリピン国人口家族計画基礎調査
報告書

1989年9月

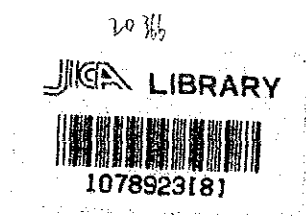
国際協力事業団
医療協力部

医	業
IR	
89	33

フィリピン国人口家族計画基礎調査報告書
1989年9月
18
92
MS

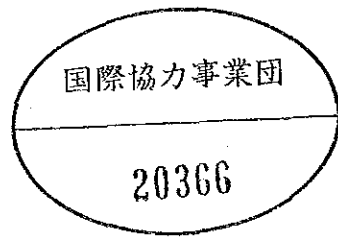
7
9i

フィリピン国人口家族計画基礎調査 報告書



1989年 9 月

国際協力事業団
医療協力部



序 文

我が国のフィリピンに対する家族計画は、機材供与を中心に1974年から開始され、1981年からは家族計画と母子保健を統合したプロジェクトを実施している。

当事業団は、1989年3月末をもって終了する本プロジェクトのエバリュエーションに資することを目的として、1988年9月に基礎調査団を派遣した。本報告書は、同調査の結果を取りまとめたものである。ここに、今回の調査にあられた団長をはじめ団員の方々、ならびに本件調査団の派遣にご協力いただいた関係機関および関係各位に深甚なる謝意を表するとともに、今後とも一層のご協力をお願いする次第である。

1989年9月

国際協力事業団

理事 西野 世界

目 次

(母子保健セミナーについて)

I. 調査の背景・目的

II. 調査団の構成・日程

II-1. 調査団の構成

II-2. 日程

III. 母子保健セミナーについて

III-1. 母子保健セミナーの意義

III-2. セミナーの印象

III-3. 母子保健統計評価上の問題

III-4. その他

(基礎データについて)

1. フィリピンの人口家族計画分野をとりまく最近の状況について

2. 人口関連の基礎情報

2-1. 人口構造の推移

2-2. 人口動態の推移

3. 人口家族計画分野の政策及び実施体制

3-1. 人口家族計画分野の政策の推移と課題

3-2. 人口家族計画分野の実施体制と関連諸機関

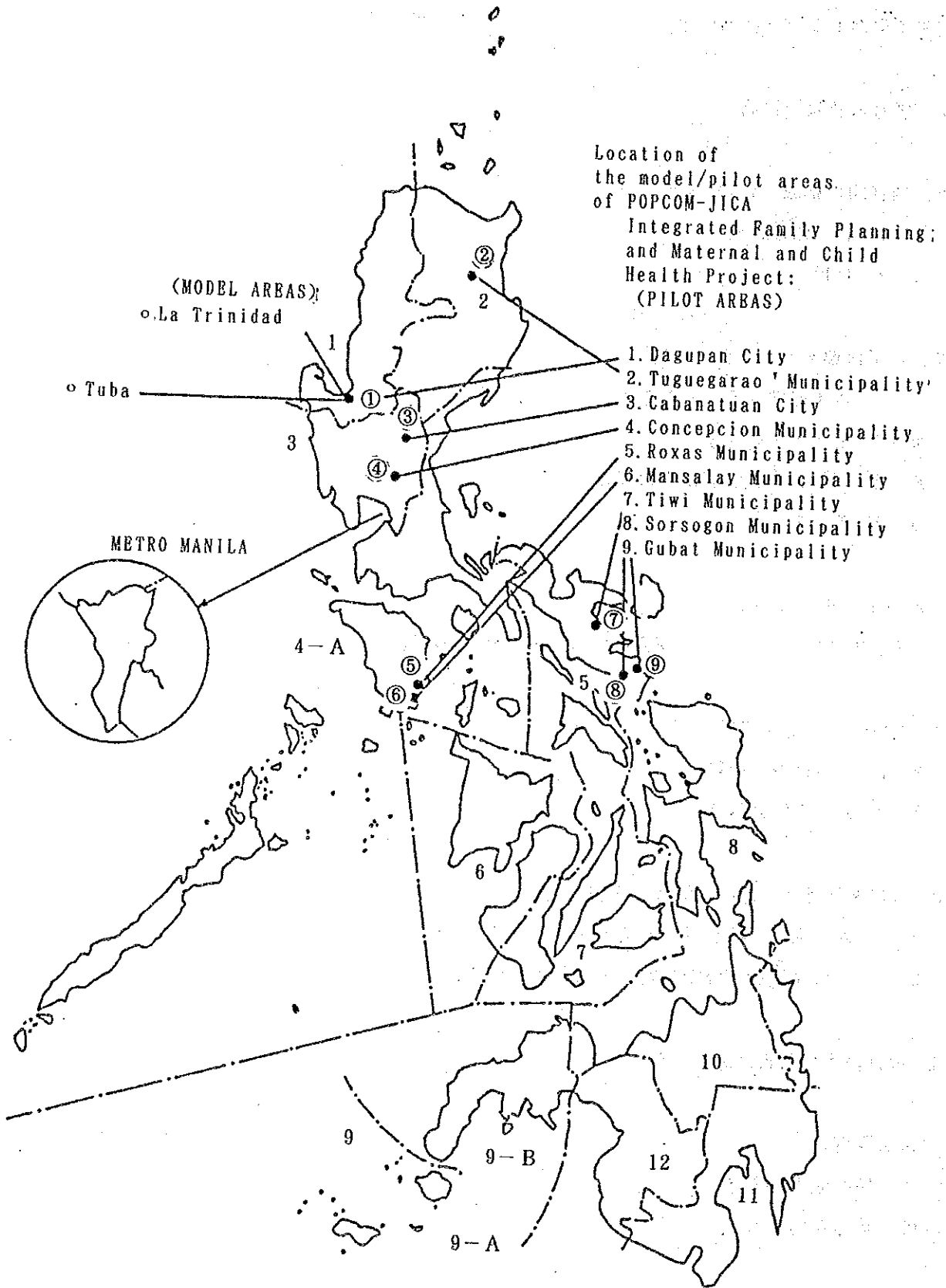
4. 現行の人口家族計画プロジェクト一覧

[付属資料]

(1) 訪問先と面会者

(2) 募集資料リスト

調査対象プロジェクト位置図



(母子保健セミナーについて)

I. 調査の背景・目的

フィリピン家族計画プロジェクトに対する協力は、1974年にR/D締結後、3度協力期間を延長しており、現在の協力期間は1989年3月までである。

フィリピン国人口審議会（POPCOM）の機能強化を目指し、IEC機器、車輛等を供与するほか、家族計画と母子保健を統合した活動を、モデル地区（現在11カ所）において行っている。

フィリピン側は、本年2月、現行プロジェクト終了後をにらんで、新規プロジェクト「人口情報センター」の構想を明らかにした。

今回の調査は、現行プロジェクトのエバリュエーション調査（89年1月に予定）に資するため、人口・家族計画・母子保健関連のマクロデータを収集・分析することを目的とした。

II. 調査団の構成・日程

II-1. 調査団の構成

団長 松山 栄吉（総括・母子保健） 東京都福祉局社会保険指導部指導医療官
宮城島一明（母子保健行政） 厚生省児童家庭局母子衛生課主査
渡辺 正夫（協力計画） 国際協力事業団医療協力部特別業務室長代理
武部 昇（人口） 財団法人国際開発センター

II-2. 日程

1988年 9月4日（日） 東京 → マニラ移動

（PR431）

5日（月）

母子保健セミナー出席

（プログラム別添）

10日（土）

11日（日） ※松山団長 帰国（PR432）

12日（月） 9：30 社会福祉省打合せ

Ms. Leticia Moises

Undersecretary for Administration

Ms. Corazon de Leon

Undersecretary for Field Operations

Ms. Flora Eufemio

- Undersecretary for Programs & Attached Agencies
 Ms. Lina Laigo
 Assistant Secretary for Field Operations
- 13 : 30 U S A 1 日打合せ
 Mr. William Johnson
 Chief, Office Of Population, Health and Nutrition
- 15 : 30 フィリピン大学保健学部打合せ
 Ms. Julita I. Yabes
 Assistant for Academic Affairs, UP, Manila
- 13日 (火) 10 : 00 N E D A 表敬
 Mrs. Gana Ricasio
 Assistant Director, Public Investment Staff
 Dr. Lirio Cabanos
 Division Chief, Social Development Staff
 Ms. Rachelle Kapunan
 Staff, Public Investment Staff
- 14 : 30 保健省打合せ
 Dr. Jovencia B. Dumindin
 Chief, Family Planning Service
 Dr. Sinforosa C. Viray
 Chief, Medical Division I
 Dr. Florencia O. Gonzales
 Medical Specialist I
 Dr. Ruby F. Fernandez
 Medical Specialist I
- 14日 (水) 9 : 30 フィリピン大学人口研究所打合せ
 Dr. Corazon Raymundo
 Dean, U P P I
 Mr. Eliseo de Guzman
 Professor, U P P I
 Ms. Imelda Feranil
 Professor, U P P I
- 14 : 00 地方自治省打合せ
 Mr. Gaudioso Sosmena, Jr.

Director, Bureau of Local Government Supervision

15日(木) マニラ → 東京 移動

(PR 4 3 2)

(別添:母子健康セミナー日程)

Day 0 – Sunday, 4 September

Arrival of Participants

Day 1 – Monday, 5 September

8.30 A.M. : Registration of Participants

9.30 A.M. : Opening Ceremonies

Welcome Address

Dr. Carmen P. Garcia

Executive Director, Population
Commission and Chairman, National
Coordinating Committee

Inspirational Talk

Mr. Moriya Miyamoto

JICA Resident Representative
Philippines

Introduction of Keynote Address

Mr. Oscar B. Escobar

Deputy Executive Director for
Technical Services

Keynote Address

Hon. Mita Pardo de Tavera
Chairman, POPCOM Board of
Commissioners

Introduction of Participants and Guests

10:45 A.M. : Coffee Break

11:00 A.M. : Tour around the POPCOM Building

12:00 A.M. : Lunch Break

1:00 P.M. : Topic Presentation

“MCH Services and Administration
Systems in Japan”

Dr. Kazuaki Miyagishima
Member, JICA Basic Study Mission

“How Japan Have Saved the Children”

Dr. Eikichi Matsuyama
Head, JICA Basic Study Mission

2:30 P.M. : Open Forum

3:00 P.M. : Coffee Break

3:15 P.M. : Topic Presentation

“Integrated FP/MCH at the Local Level:

Tiwi Experience

Hon. Oriel Clutario

Mayor

Tiwi, Albay

4:15 P.M. : Open Forum

5.00 P.M. : Picture Taking

5:30 P.M. : Cocktails/Dinner Party

Hosted by: POPCOM

Day 2 – Tuesday, 6 September

9.00 A.M. : Recap and Mechanics of the Seminar

Ms. Bethel Villarta

Facilitator

9:15 A.M. : Country Paper: Nepal

Dr. Sudhakar A. Thapalla

Acting Chief

FP/MCH Project

Dr. Jeev Krishna Shrestha

Chief, MCH Section

Mr. Pahal Man Gurung

Chief, IEC Section

10:15 A.M. : Coffee Break

10:30 A.M. : Open Forum

12:00 P.M. : Lunch Break

1:00 P. M. : Country Paper: Thailand

Ms. Patama Bhiromrut

Chief, IEC Section

Family Health Division

Ms. Nongnuch Boonyakiat

Head, Training Unit

Family Health Division

Ms. Yindee Charanasomboon

Senior Communicator

IEC Section

2:00 P.M. : Open Forum

3:00 P.M. : Coffee Break

3:15 P.M. : Country Paper: Philippines

Mr. Tomas M. Osias

Population Programs Chief

Planning and Monitoring Division

Mr. Efren B. Vigo

Population Programs Chief

Information Management and

Research Division

Ms. Mia C. Ventura

Regional Population Director

Region II

4:15 P.M. : Open Forum

Day 3 – Wednesday, 7 September

- 9:00 A.M. : Recap
Ms. Bethel Villarta
Facilitator
- 9:15 A.M. : Topic Presentation
"IEC Activities Undertaken Under
POPCOM-JICA Integrated FP/MCH
Project"
Mr. Efren B. Vigo
Population Programs Chief
Information Management and Research Division
Ms. Bethel Villarta
Population Programs Chief
Standard and Accreditation Division
Mr. Kenichi Hiura
JICA IEC Expert
- 10:30 A.M. : Coffee Break
- 10:45 A.M. : Continuation
- 12:00 P.M. : Lunch Break
- 1:00 P.M. : Topic Presentation
"MCH Activities Undertaken Under
POPCOM-JICA Integrated FP/MCH Project."
Ms. Ichiko Yamashita
JICA MCH Project Team Leader
Ms. Teresita dela Cruz
Supervising Population Research Assistant
Region III
- 3:00 P.M. : Coffee Break
- 3:15 P.M. : Open Forum

Day 4 – Thursday, 8 September

- 8:15 A.M. : Departure from POPCOM to Concepcion
Tarlac
- 10:30 A.M. : Courtesy Call to Hon. Danilo David
Mayor
Concepcion, Tarlac
- 11:00 A.M. : Orientation on POPCOM-JICA Project
- 12:00 P.M. : Lunch Break
- 2:00 P.M. : Demonstration of FP/MCH Project
Activities

Day 5 – Friday, 9 September

- 9:00 A.M. : Plenary Discussion of Insights on Field Trip
- 10:00 A.M. : Coffee Break
- 10:15 A.M. : Workshop: Integration of Learning
Ms. Bethel Villarta
Facilitator
- 12:00 P.M. : Lunch Break
- 1:00 P.M. : Continuation of Workshop
- 3:00 P.M. : Coffee Break
- 3:15 P.M. : Presentation of Output
"Statement of Recommendations to
Further Strengthen FP/MCH Integration"
- 5:30 P.M. : Closing Remarks and Cocktails/
Dinner Party
Hosted by JICA
Venue: Manila Garden Hotel
- Opening Remarks
Mr. Oscar B. Escobar
Deputy Executive Director for Technical
Services
- Impression Talk
Foreign Participants
- Awarding of Certificates
Dr. Carmen P. Garcia
Executive Director
Population Commission
- Mr. Moriya Miyamoto
JICA Resident Representative
Philippines
- Closing Remarks
Dr. Carmen P. Garcia
Executive Director
Population Commission

Day 6 – Saturday, 10 September

- 8:00 A.M. : Field Trip

Day 7 – Sunday, 11 September

- Departure of Participants
- Master of Ceremonies
Mr. Oscar B. Escobar
Deputy Executive Director for
Technical Services

Ⅲ. 母子保健セミナーについて

Ⅲ-1. 母子保健セミナーの意義

わが国とフィリピン、タイとの家族計画・母子保健の国際協力を始めてから、両国とも15年の長さにもなるが、今まで国際協力事業団の事業の中で、援助国間同士のセミナーを開催したことはなかった。今回この2国のほかに、2年前より同じ分野の国際協力を行っているネパールを加え、マニラにおいてセミナーを持つ機会を得た。

本セミナーの目的は、それぞれの援助国の行っている家族計画・母子保健事業を発表し、その内容を比較検討することによって、他国の問題点も理解し、また他国の優れている点を学び、それを取り入れる努力をすることにある。もちろんそれぞれの国の文化、政治、経済を初め、地理的その他いろいろな条件の相違もあって、他国の長所を学ぶといっても必ずしも容易ではない。

しかし先進国のレベルとは懸隔があるために、同じレベルで悩んでいる国の実情を知ることが、むしろ当面の参考となる点が多々あることと思われる。

Ⅲ-2. セミナーの印象

セミナーの内容は、まずわが国の母子保健の発展の歴史と現状について、松山と宮城島が解説的な発表を行い、次いで各国の代表およびその国に派遣中のわが国の専門家から、それぞれの国の家族計画・母子保健の現状についての報告があった。

初めから予想していたことであるが、このような形のセミナーの結果として、それぞれの家族計画・母子保健のレベルを対比させることになってしまった。参考のために、統計資料の一つを示すと表1のようである。

表1. 4か国の人口動態

項目	日本	フィリピン	タイ	ネパール
面積 (km ²)	372,805	300,000	514,000	147,181
人口	122,020,000 (1988)	57,500,000 (1987)	53,397,745 (1988)	17,000,000 (1988)
人口密度 (1 km ² につき)	328 (1988)	192 (1987)	104 (1988)	116 (1988)
自然増加率 (%)	0.42 (1988)	2.4 (1987)	1.5 (1988)	2.6 *
合計特殊出生率	1.69 (1987)	4.1 (1987)	約3 (1988)	6.0 *
乳児死亡率 (出生千対)	4.6 (1988)	54.2 (1987)	35 (1988)	108 *

〔注〕ネパールは1981年の国勢調査で、人口15,000,000人。*印の年代は現在の

数値というが、年代は不明。

家族計画の普及のレベルを表す指標の一つである自然増加率 (人口100対) は、タイの1.5に比し、フィリピン2.4、ネパール2.6と高い。わが国では統計史上2.0を超えたのは、第2次世界大戦終了直後の1948、1949年のそれぞれ2.2、2.1に過ぎず、1951年は1.5となり、その後1前後を上下

した時代があったが、1977年以後は毎年1以下を続けている。

タイは1970年は3.1であったという。国家家族計画という大きな目標のもとに、毎年の努力の結果が1.5までに減少させたことが、大きく評価されている。それに比べるとフィリピンは、1970年代には3以上であったものが、1980年には2.7と下降を見たが、それ以後も減少傾向はあるとはいえ、現在も2.4である。この自然増加率がもしこのまま続くと仮定すれば、この国の人口は29年間で倍増することを示す。ネパールは従来の統計数値がほとんどなかったため、過去との比較が困難であるが、自然増加率の2.6は、27年間で人口が倍増することを示す。

乳児死亡率を見た場合、ネパールの108という数値はわが国の1935～1939年ころに相当し、またフィリピンの54.2は1951年ころ、タイの35は1960年ころに相当する。

このように統計数値は、当事者が好むと好まざるとにかかわらず、単に数値の大小以外に、「A国はB国に比較して何年遅れているか」というような、国と国との間の優劣を比較する結果となる。今回のセミナーにおいては、国家家族計画の成果が順調で、しかも乳児死亡率も相対的に低いタイが優越感を味わい、ネパールはその遅れを痛感させられた結果となった。

しかしこのことは、それぞれの国の将来の目標を達成させるために、励みになることも事実である。各講師の発表のあとの質問や討論のさいには、遅れた国より進んだ国に対し、進歩の方法に関する質問がなされる。それが今後の成果に反映することになれば、セミナーの効果は大きかったといえる。

もともとわが国が海外援助の分野で技術移転を試みるということは、わが国の進歩の経験を発展途上国にも学ばせようということである。またわが国も第2次世界大戦直後の統計が示すように、低いレベルから出発し、40年後には世界最高のレベルを占めるに至った。この成果の事実は、発展途上国にとって、大きな希望を与えていることは否定できない。

III-3. 母子保健統計評価上の問題

改めて言うまでもなく、その国や地域の家族計画ないし母子保健の内容を評価するさいに、人口動態統計が基本となる。ある地域の母子保健統計も、まずその地域の人口が確定したうえで、出生、死亡とその死因、さらには死産や転出転入の人数まで把握していないと、正確な統計はとれない。

わが国の人口動態統計の完備は、先進国の中でも程度が卓越したものであり、それを早急に開発途上国に期待することは不可能であるにしても、これらの国の人口動態統計の不備は、母子保健の評価そのものを無意味にしてしまう恐れがある。たとえば発展途上国においては、死産の統計はきわめて不完全であるため、統計上に見られる数値はきわめて低い。そのため死産の統計は信用できないばかりでなく、妊産婦死亡率や乳児死亡率とともに母子保健のもっとも重要な指標になっている周産期死亡率も、死産を含めて算出されるために、これらの国では正確な数値が望めないことになる。事実開発途上国において、周産期死亡率を発表しているところはほとんどない。

これらの国も、何年かに1回の国勢調査を実施してきたため、その時点の人口はほぼ把握がされ

ているが、普段の届出制度の不備のために、それ以上の追跡が不可能である。表1に掲げた数値も、どの程度まで信頼できるかは疑問である。わが国は人口動態統計の整備を目的とする海外援助も、いくつかの国に対して行ってきたが、開発途上国は小さな地域でもよいから、モデル地区を設置して、完全な母子保健統計を作成することから始め、それを他の地域へと広げていくような方法を試みてはどうかと考える。

Ⅲ-4. その他

今回のセミナーの最終日に、参加者全員でマニラの北方ターラック県のコンセプション市の見学があった。この地域はわが国の行っている家族計画・母子保健海外協力のモデル地区の一つである。

セミナーの日程が、単に発表と討論の場だけでなく、このような見学を入れたということは、他国から訪れた参加者にとって大変参考になったと思われる。

今回、タイは家族計画・母子保健に関するきれいなポスターを多種類用意してきて供覧した。このようなポスターをはじめ、一般啓蒙用のパンフレット、リーフレットの類も、他国からの参加者にとって大いに参考になったようであった。ネパールは印刷技術が低いので、カラー色刷のよいものはタイに依頼しないとできないという。

いずれにせよ今回のセミナーが、それぞれの国にとって自信を与えられ、あるいは今後の努力の目標になったことと考えられ、その意義は大きかったと思う。

〔基礎データについて〕

1. フィリピンの人口家族計画分野をとりまく最近の状況について

フィリピンにおいては現在、人口家族問題をめぐって2つの考え方が対立し、人口過剰問題をチェックする国民的合意が得られない状況にある。このような状況についてJICA専門家集団は次のようにまとめている。

(1) 新憲法の発効とカトリック勢力の影響

1987年2月2日に実施された新憲法草案に対する国民投票は、投票総数の76%の支持を得て、2月11日アキノ大統領は新憲法の発効を宣言した。

この新憲法起草委員のなかには、教会の強い影響を受けたカトリック保守グループのメンバーも選ばれており、新憲法には教会の意向が少なからず反映されている。

例えば、新憲法の第2章“原理と国家政策の宣言”には“非核兵器政策の採択”（同第8条）と並んで“受胎時からの胎児の生命保護”（同第12条）が、盛り込まれている。

中絶禁止の憲法前文への昇格については、プロライフ・グループ（カトリック保守グループ、中絶禁止を前面に出して啓蒙活動しているグループ、生活至上主義者）の影響が大きく働いている。

また、1973年施行憲法では、明文化されていた“適正規模人口の維持政策”（1973年憲法第15章第10条）の条文が新憲法では、除去された。かわりに、新憲法第2章第9条には“国家は、社会サービスの充実、完全雇用の促進、生活レベルの向上、生活の質の向上といった政策を通じて、国民を貧困から自由にするため、公正、ダイナミックな社会秩序を促進する”と規定されている。

(2) プロ・ライフグループの動向

1987年2月2日付マニラ・ブリティン紙に“人口政策の転換”に関する記事が掲載された。この記事によれば、政府によるピル、IUD等の避妊具の供給、配布が禁止されるというもので、家族計画関係者に大きな波紋を与えた。

この記事の背景には、プロライフグループが大統領府に提出した1986年12月7日付大統領命令ドラフト案が、強く影響している。このドラフト案の主な内容は、人口政策における量的目標の設定の廃止、政府によるピル、IUD等の避妊具の供給、配布、推進活動の廃止である。

これを受けて、大統領府よりこのドラフト案のコメントを求められたNEDA（国家経済開発庁）モンソッド長官は1月13日付大統領府に提出した文書にて、家族計画政策は1987年～1992年フィリピン中期開発計画において、すでに設定されており、各夫婦が政府による避妊具の供給、配布を通じて自分達のモラル、宗教的信念に従って、いろいろな避妊方法を自由に選択することになっていると記し、このドラフト案については、是認できない旨言明している。

そして、上記ドラフト案に端を発し、新憲法発効後（とくに1987年2月～5月まで）各新聞紙上において、プロライフグループとプロチョイスグループによる人口政府論争が頻りに掲載されるようになった。

つまり、プロライフグループが主張しているのは、現行人口プログラムにおいて、政府により実施されている避妊具の供給、配布を廃止し、リズネ法や頸管粘液法の自然法による避妊方法のみを実施していくというものであり、一方プロチョイスグループの見解は、政府により実施されている避妊具の供給、配布を通じて、各夫婦が個人のモラルや宗教的信念に従っていろいろな避妊方法を、選択するというものである。

このような状況に加え、新政権後人口委員会の理事長を務めるタバラ社会福祉事業大臣はプロライフグループに近いと言われており、人工的な避妊方法の普及には消極的であり、人口プログラムに関しては家庭福祉政策の重要性（人口プログラムは、家庭計画・栄養・母子保健との総合にて実施されるものであり、子供の生存・母子保健・女性の地位の向上・生計向上が人口問題の所要プログラムである。）を常々言明している。

しかし、人口問題と家庭福祉との統合政策のなかで、調整機関である人口委員会がどのような具体的な方針で対処するのか、いまだ明確ではない。

このようなタバラ大臣の政治姿勢と12年間にわたり家族計画重視のアウトリーチプロジェクトを援助してきたUSAIDの援助姿勢との調整が現在迫られている。

このような上述した状況の中で、USAID（米国国際開発庁）は、このアウトリーチプロジェクトの対応に苦慮しているが、今年からUSAIDは、人口問題・家族計画に関心の高い保健省のベングソン大臣に接近し、現在保健省とUSAIDとの間でこのアウトリーチプロジェクトの対応について頻繁に協議がもたれている。

その内容は次のとおり、1) このアウトリーチプロジェクトに対して現在人口委員会が有している機能の保健省への移管 2) 避妊具の供給システムを人口委員会を通さず直接に保健省に供与すること 3) 実施レベルにおける、NGO（民間団体）との調整機能の保健省の移管。

しかしながら、USAIDとしても、人口プログラムに関する政策策定機能を有する人口委員会を無視して、保健省とタイアップすれば解決する問題でもないため、今後とも迂余曲折が予想される。

一方UNFPAも人口問題に熱心なシャハニー上院議員（ラモス国防大臣の実妹）と密な関係を保持しており、今回9月2日に開催された人口・開発にかかる国会議員会議は同上院議員の主導のもと実施された。

本来、人口委員会が企画運営すべき会議であるが、タバラ大臣はこの会議の開催については批判的であった。

この会議が開催された国際会議場前では、プロライフグループによるデモが実施され、フィリピンにおける人口問題解決の困難さが浮き彫りにされた。

このような状況の中で、フィリピンの人口問題に関する最高権威の一人であるDr.Herrinは、本年7月に開催されたラウンド・テーブルに次のペーパーを提出し、人口政策に関する合意の形成について次のような試論を展開している。

Alejandro N. Herrin, Population, Human Resources and Development: Towards a Consensus on Population Policy, (Paper prepared for the Roundtable Discussion on Population, Human Resources and Development Issues held 29 July 1988), 15p.

この論文の構成は、①人口と経済発展のトレンドと政府の施策の役割、②新しい人口政策と家族計画プログラムに向けて「コンセンサスの形成は可能か」の2章より成っており、結論として次の3点を導き出している。

- a) Strengthen the population policy by adopting explicit fertility and population reduction objectives.
- b) Adopt an integrated human resources development policy with particular attention to the health, nutrition and basic educational needs of children.
- c) Strengthen the integration of population and development planning.

2. 人口関連の基礎情報

2-1. 人口構造の推移

(1) 人口総数

フィリピンの人口総数については、センサスの結果により知ることができる。センサスはこれまで1877年、1887年、1903年、1918年、1939年、1948年、1960年、1975年、1980年の9回実施された。1877年以前の人口総数については研究者、教会などの資料によって1799年まで遡って知ることができる(表2-1-1)。同表における1799年から1896年までの人口総数はキリスト教徒のみを対象としたものである。したがって真の意味でのセンサスは1903年以降8回実施されたといえることができる。

最新のセンサスは1980年であり、したがってそれ以降の人口総数は推計によることになる。国家経済開発庁(以下NEDAと略称)の推計によれば1987年のフィリピンの人口総数は5,750万人である。その年令別構成は15才未満39.7%、15~64才56.9%、65才以上3.4%である。1980年~87年間人口伸び率は2.41%と想定されている。

なお、本節で取り扱う人口構造の基礎統計は上述のセンサスがベースとなっており、ここでは主としてNEDA発行の次のものを参考にした。

NEDA, Philippine Statistical Yearbook 1987, August 1987.

またフィリピンの人口構造についての研究は、主としてフィリピン大学人口研究所(UPI)やNEDAにおいて行なわれている。本報告書においては、人口構造についての分析や検討は行なわないので、とりあえず概説的な文献を次に示しておく。

NEDA, An Introductory Guide to Population Development Planning, 1983.
Mercedes B. Concepcion ed., Population of the Philippines Current
Perspectives and Future Prospects, NEDA, 1983.

(2) 地域別/性別人口

フィリピンの人口を地域別、性別に見たのが表2-1-2である。対象年はセンサス実施の1960、70、75、80の各年である。対象地域はマニラ首都圏 (Metropolitan Manila Area - National Capital Region) 及びRegion 1~Region 12の合計13地域に区分されている。これら地域は図2-1-1に示されている。JICAの家族計画プロジェクトが対象としているサイトはフィリピン北部に位置するRegion 1からRegion 5までに含まれる11地区である。

なお、表2-1-2の中には、性比(女子100人当たりの男子数)も示されている。

(3) 年令別/性別人口

1980年における人口総数をさらに年令別(5才階層別)、性別、都市-農村別に見たのが表2-1-3である。ただしこれらの数字は、人口総数のうちの20%をサンプルとして推計した結果を、全体にあてはめて得た結果である。また表2-1-4~表2-1-6は、NEDAの研究による1948~80年を対象とした検討結果である。表2-1-4は年令別性比の推移、表2-1-5は年令構造の推移、図2-1-1は年令ピラミッド、表2-1-6は扶養人口率(dependency ratio = 15才未満と65才以上人口の15~45才人口に対する割合)の推移を示している。

(4) 地域別/都市-農村別人口

都市-農村別人口については、1980年のセンサス結果は表2-1-3にみたとおりである。表2-1-7はさらに1970年以降の都市-農村別人口をセンサス及び推計にもとづいて示しており、表2-1-8は1903~80年のセンサス年における都市化(都市人口の総人口に対する割合)の推移を示している。

県別(Province)人口の推移(1918~80年)と県別の人口密度の推移(1918~80年)が表2-1-9に示されている。

(5) 労働力人口

フィリピンにおける労働力人口の推移と産業別の雇用者数を表2-1-10と表2-1-11に示す。

(6) 民族/宗教別人口

現在のフィリピン人は、マレー系と蒙古系が5000年の長期間にわたって混血を繰返して作りあげてきたもので、その他の人種は最近のわずか400年に参入したものである。フィリピンには、これら民族別の統計は見当たらない。

また宗教については、国民の85%がカトリックと圧倒的な多数を占め、次いで8%が回数、残りが、プロテスタント等となっている。そのような状況から、宗教別の人口統計も入手することはできない。

表 2 - 1 - 1 フィリピン総人口の推移 (1799-1980)

Table 1.5 - POPULATION OF THE PHILIPPINES: CENSUS YEARS 1799-1980

Year	Population	Average annual rate of increase over previous date (percent)	Source of data
1799 ¹	1,502,574	...	Buzeta
1800 ¹	1,561,251	3.90000	Zuniga
1812 ¹	1,933,331	1.79727	Cedulas
1819 ¹	2,106,230	1.23119	Cedulas
1829 ¹	2,593,287	2.10204	Church
1840 ¹	3,096,031	1.62391	Local officials
1850 ¹	3,857,424	2.23312	Buzeta
1858 ¹	4,290,381	1.33859	Bowring
1870 ¹	4,712,006	0.78419	Guia de Manila
1877 ¹	5,567,685	2.41243	Census
1887 ¹	5,984,727	0.72492	Census
1896 ¹	6,261,339	0.50329	Prof. Plehn's estimate based on census records.
1903 ²	7,635,426	2.87489	Census
1918 ³	10,314,310	1.89735	Census
1939	16,000,303	2.21955	Census
1948	19,234,182	1.90601	Census
1960	27,087,685	3.05710	Census
1970	36,684,486	3.01190	Census
1975	42,070,660	2.78572	Census
1980	48,098,460	2.71417	Census

¹Population from 1799 to 1896 excludes non-Christians.

²Includes 647,740 non-Christians.

³Includes 932,953 non-Christians.

Source: National Census and Statistics Office.

表 2 - 1 - 2 地域別/性別人口の推移 (1960, 65, 70, 80)

Table 1.6 - SEX RATIO OF THE POPULATION, BY REGION, CENSUS YEARS, 1960 to 1980

Region/Province	1960			1970	
	Male	Female	Males per 100 females	Male	Female
Philippines	13,661,869	13,424,816	101.8	18,250,351	18,434,135
Metropolitan Manila Area (National Capital Region)	1,194,015	1,268,473	94.1	1,921,912	2,044,783
Region 1	1,285,648	1,308,249	98.3	1,470,633	1,519,928
Region 2	525,857	508,893	103.3	653,783	637,676
Region 3	1,263,669	1,261,510	100.2	1,790,117	1,825,379
Region 4	1,559,013	1,522,214	102.4	2,222,196	2,234,812
Region 5	1,207,138	1,155,569	104.5	1,495,394	1,471,487
Region 6	1,545,946	1,532,359	100.9	1,778,857	1,839,469
Region 7	1,246,044	1,276,758	97.6	1,486,370	1,546,349
Region 8	1,034,249	1,006,717	102.7	1,199,078	1,182,331
Region 9	697,571	653,150	106.8	932,555	936,459
Region 10	747,093	715,268	104.4	984,587	966,148
Region 11	469,994	424,029	110.6	1,124,933	1,075,793
Region 12	886,432	791,617	112.0	989,936	951,521

Source: National Census and Statistics Office.

Sex Ratio (Males per 100 females)	1975			1980		
	Male	Female	Males per 100 females	Male	Female	Males per 100 females
99.0	21,276,224	20,794,436	102.3	24,128,755	23,969,705	100.7
94.0	2,430,213	2,539,793	95.7	2,855,712	3,070,172	93.0
96.8	1,636,953	1,632,438	100.3	1,760,119	1,780,774	98.8
101.9	990,757	942,420	105.1	1,128,854	1,086,668	103.9
98.1	2,125,706	2,084,430	102.0	2,406,886	2,395,907	100.5
99.4	2,651,509	2,562,334	103.5	3,095,075	3,023,545	102.4
101.6	1,631,505	1,562,216	104.4	1,765,624	1,711,358	103.2
96.7	2,089,470	2,056,920	101.6	2,265,780	2,259,835	100.3
95.1	1,694,131	1,693,143	100.1	1,882,242	1,905,132	98.8
101.4	1,328,481	1,271,247	104.5	1,423,846	1,375,688	103.5
99.6	1,046,853	1,001,029	104.6	1,281,439	1,247,067	102.8
101.7	1,184,262	1,129,943	104.8	1,402,083	1,356,902	103.3
104.6	1,401,075	1,313,483	106.7	1,712,175	1,634,628	104.7
104.0	1,065,309	1,005,040	106.0	1,148,920	1,122,029	102.4

図 2-1-1 フィリピン地域区分図

- REGIONAL OFFICES**
- NATIONAL CAPITAL REGION — METROPOLITAN MANILA
 - REGION NO. 1 — ILOCOS REGION
REGIONAL CENTER — SAN FERNANDO, LA UNION
 - REGION NO. 2 — CAGAYAN VALLEY REGION
REGIONAL CENTER — TUGUEGARAO, CAGAYAN
 - REGION NO. 3 — CENTRAL LUZON REGION
REGIONAL CENTER — SAN FERNANDO, PAMPANGA
 - REGION NO. 4 — SOUTHERN TAGALOG REGION
REGIONAL CENTER — METROPOLITAN MANILA
 - REGION NO. 5 — BICOL REGION
REGIONAL CENTER — LEGAZPI CITY
 - REGION NO. 6 — WESTERN VISAYAS REGION
REGIONAL CENTER — ILOILO CITY
 - REGION NO. 7 — CENTRAL VISAYAS REGION
REGIONAL CENTER — CEBU CITY
 - REGION NO. 8 — EASTERN VISAYAS REGION
REGIONAL CENTER — TACLOBAN CITY
 - REGION NO. 9 — WESTERN MINDANAO REGION
REGIONAL CENTER — ZAMBOANGA CITY
 - REGION NO. 10 — NORTHERN MINDANAO REGION
REGIONAL CENTER — CAGAYAN DE ORO CITY
 - REGION NO. 11 — SOUTHERN MINDANAO REGION
REGIONAL CENTER — DAVAO CITY
 - REGION NO. 12 — CENTRAL MINDANAO REGION
REGIONAL CENTER — COTABATO CITY

**MAP
OF THE
PHILIPPINES
1987**

LEGEND

- CAPITAL OF THE PHILIPPINES *
- CITY AND PROVINCIAL CAPITAL E
- PROVINCIAL CAPITAL o
- CITY □
- REGIONAL BOUNDARY ———
- SUB-REGIONAL BOUNDARY - - - - -
- PROVINCIAL BOUNDARY - - - - -

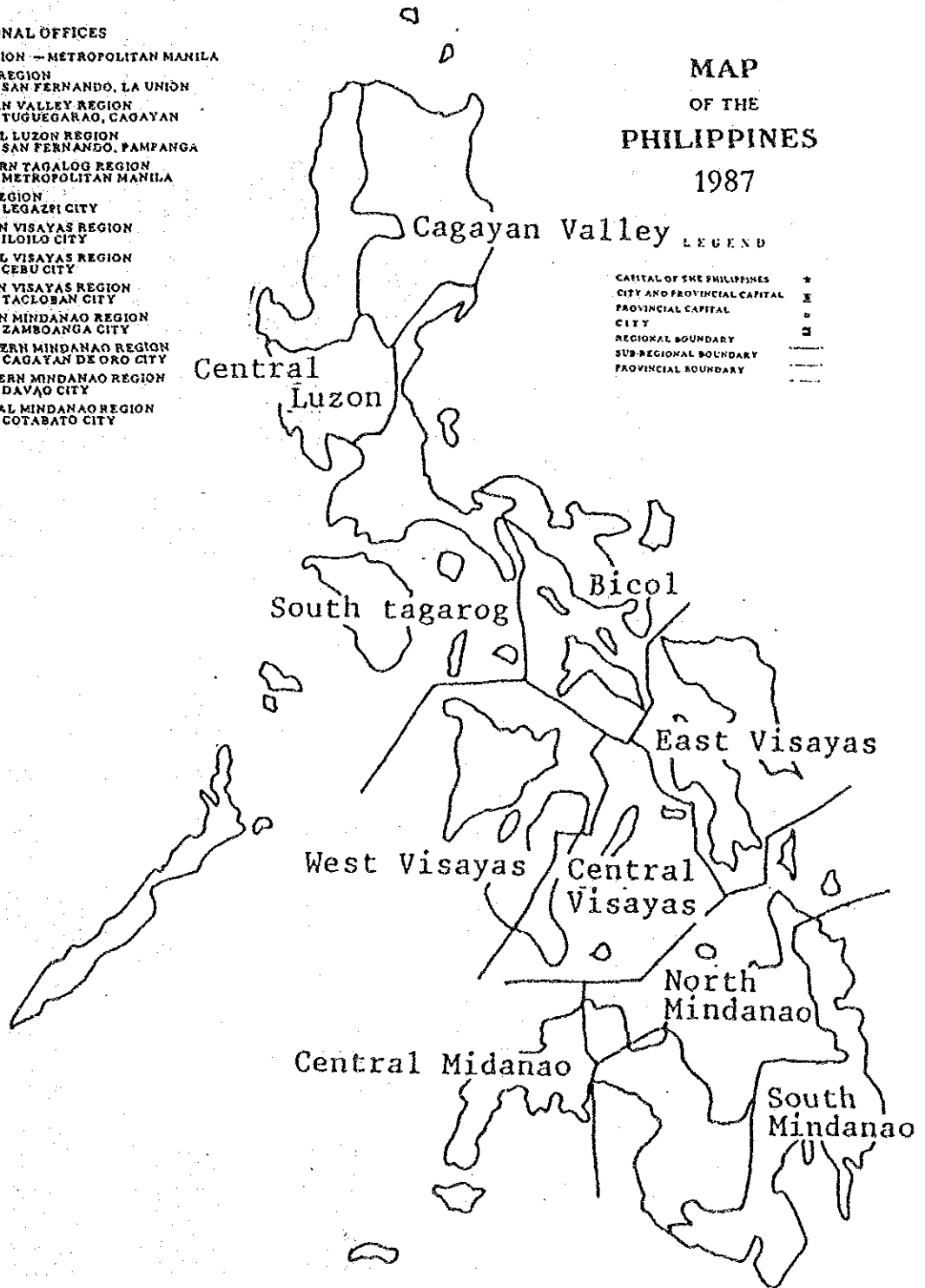


表 2 - 1 - 3 年令別、性別、都市／農村別人口構成 (1980)

Table 1.4 - POPULATION BY AGE GROUP AND SEX, BY REGION, URBAN-RURAL: 1980
(Figures are estimates based on the 20 percent sample)

Philippines				
Age group	Both Sexes	Male	Female	Both Sexes
All ages	48,098,460	24,128,755	23,969,705	17,943,897
Under 1 year ...	1,742,912	893,971	848,941	610,411
1- 4	5,923,285	3,038,799	2,884,486	1,995,744
5- 9	6,605,446	3,396,682	3,208,764	2,186,800
10-14	5,949,904	3,036,022	2,913,882	2,077,626
15-19	5,255,641	2,566,848	2,688,793	2,085,159
20-24	4,588,224	2,210,308	2,377,916	1,937,953
25-29	3,854,164	1,918,288	1,935,876	1,627,605
30-34	2,998,581	1,521,082	1,477,499	1,268,844
35-39	2,419,171	1,227,966	1,191,205	930,022
40-44	2,077,506	1,046,208	1,031,298	797,364
45-49	1,660,486	825,018	835,468	618,496
50-54	1,386,743	682,996	703,747	514,582
55-59	1,094,560	528,491	566,069	389,039
60-64	905,496	441,026	464,470	313,797
65-69	718,336	349,270	369,066	254,695
70-74	440,304	216,036	224,268	161,033
75 and over	477,701	229,744	247,957	174,727

Urban		Rural		
Male	Female	Both Sexes	Male	Female
8,765,276	9,178,621	30,154,563	15,363,479	14,791,084
313,516	296,895	1,132,501	580,455	552,046
1,028,018	967,726	3,927,541	2,010,781	1,916,760
1,122,039	1,064,761	4,418,646	2,274,643	2,144,003
1,039,809	1,037,817	3,872,278	1,996,213	1,876,065
952,727	1,132,432	3,170,482	1,614,121	1,556,361
888,681	1,049,272	2,650,271	1,321,627	1,328,644
782,995	844,610	2,226,559	1,135,293	1,091,266
633,093	635,751	1,729,737	887,989	841,748
463,478	466,544	1,489,149	764,488	724,661
394,109	403,255	1,280,142	652,099	628,043
301,660	316,836	1,041,990	523,358	518,632
248,296	266,286	872,161	434,700	437,461
182,143	206,896	705,521	346,348	359,173
144,975	168,822	591,699	296,051	295,648
116,312	138,383	463,641	232,958	230,683
74,945	86,088	279,271	141,091	138,180
78,480	96,247	302,974	151,264	151,710

表 2 - 1 - 4 年令別性比の推移 (1948~1980)

Table 2.2
SEX RATIOS BY AGE GROUP, 1948-1980

AGE GROUP	CENSUS YEAR				
	1948	1960	1970	1975	1980
<u>ALL AGES</u>	<u>101</u>	<u>102</u>	<u>99</u>	<u>102</u>	<u>101</u>
0 - 4	106	106	103	105	105
5 - 9	106	107	104	106	106
10 - 14	105	106	103	104	104
15 - 19	94	97	95	98	96
20 - 24	94	94	94	95	93
25 - 29	92	95	94	100	99
30 - 34	95	97	95	100	103
35 - 39	101	97	98	101	103
40 - 44	98	99	97	102	101
45 - 49	110	103	95	103	99
50 - 54	91	106	98	102	97
55 - 59	107	107	100	106	93
60 - 64	103	116	103	106	95
65 - 69	112	100	97	105	95
70 & over	98	100	95	99	94

Source: Same as for Table 2.1

表 2 - 1 - 5 年齢構造の推移 (1948~1980)

Table 2.4
PERCENTAGE DISTRIBUTION OF THE POPULATION BY AGE GROUP,
CENSUS YEARS, 1948-1980

AGE GROUP	CENSUS YEAR				
	1948	1960	1970	1975	1980
	<u>Population in Thousands</u>				
<u>ALL AGES</u>	<u>19,234</u>	<u>27,088</u>	<u>36,684</u>	<u>42,071</u>	<u>48,098</u>
0-4	2,993	4,572	5,837	6,481	7,666
5-9	2,942	4,369	5,895	6,331	6,605
10-14	2,560	3,435	5,026	5,682	5,950
15-19	2,064	2,814	4,080	4,951	5,256
20-24	1,767	2,458	3,151	3,838	4,588
25-29	1,494	1,953	2,460	2,982	3,854
30-34	1,121	1,556	2,072	2,329	2,999
35-39	1,129	1,428	1,899	2,211	2,419
40-44	755	1,099	1,485	1,729	2,076
45-49	693	1,033	1,282	1,478	1,660
50-54	434	710	1,016	1,151	1,387
55-59	344	488	808	914	1,095
60-64	332	431	614	792	905
65-69	197	226	388	495	713
70 & over	409	513	645	707	913
0-14	8,493	12,377	16,756	18,494	20,221
15-64	10,134	13,972	19,865	22,375	26,241
65 & over	607	739	1,033	1,202	1,636
	<u>Percentage Distribution</u>				
<u>ALL AGES</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>
0-4	15.6	16.9	15.9	15.4	15.9
5-9	15.3	16.1	16.1	15.0	13.7
10-14	13.3	12.7	13.7	13.5	12.4
15-19	10.7	10.4	11.1	11.8	10.9
20-24	9.2	9.1	8.6	9.1	9.5
25-29	7.8	7.2	6.7	7.1	8.0
30-34	5.8	5.7	5.7	5.5	6.2
35-39	5.9	5.3	5.2	5.3	5.0
40-44	3.9	4.1	4.0	4.1	4.3
45-49	3.6	3.8	3.5	3.5	3.5
50-54	2.3	2.6	2.8	2.7	2.9
55-59	1.8	1.8	2.2	2.2	2.3
60-64	1.7	1.6	1.7	1.9	1.9
65-69	1.0	0.8	1.0	1.2	1.5
70 & over	2.1	1.9	1.8	1.7	1.9
0-14	44.2	45.7	45.7	44.0	42.0
15-64	52.7	51.6	51.5	53.1	54.6
65 & over	3.1	2.7	2.8	2.9	3.4

Source: National Census and Statistics Office, Census Reports for 1948 and 1980.

表 2 - 1 - 6 扶養人口率の推移 (1948 ~ 80)

Table 2.10
DEPENDENCY RATIOS, CENSUS YEARS 1948 TO 1980

CENSUS YEARS	DEPENDENCY RATIOS,		
	Total	Youth Under 15	Old-Age 65 & Over
1948	90	84	6
1960	94	89	5
1970	94	89	6
1975	88	83	5
1980	83	77	6

Source: Census Reports from 1948 to 1980.

Table 2.11
AGE DEPENDENCY RATIOS FOR THE WORLD, MORE DEVELOPED REGIONS
AND LESS DEVELOPED REGIONS, 1950-2000

	WORLD			MORE DEVELOPED REGIONS			LESS DEVELOPED REGIONS		
	Total	Youth	Old Age	Total	Youth	Old Age	Total	Youth	Old Age
1950	67	58	9	55	43	12	74	67	8
1960	74	65	10	59	45	14	82	75	7
1970	75	66	10	57	42	15	84	77	7
1980	69	59	10	52	35	17	76	69	7
1990	62	53	10	51	33	18	66	59	7
2000	59	49	11	52	32	20	62	54	8

Source: United Nations. *Selected Demographic Indicators by Country, 1950-2025: Demographic Estimates and Projections as Assessed in 1980 (ST/ESA/SER.R/38)*, table 8.

図 2 - 1 - 2 年齢ピラミッドの推移 (1948~80)

Figure 2.1
AGE-SEX PYRAMIDS, 1948-1980

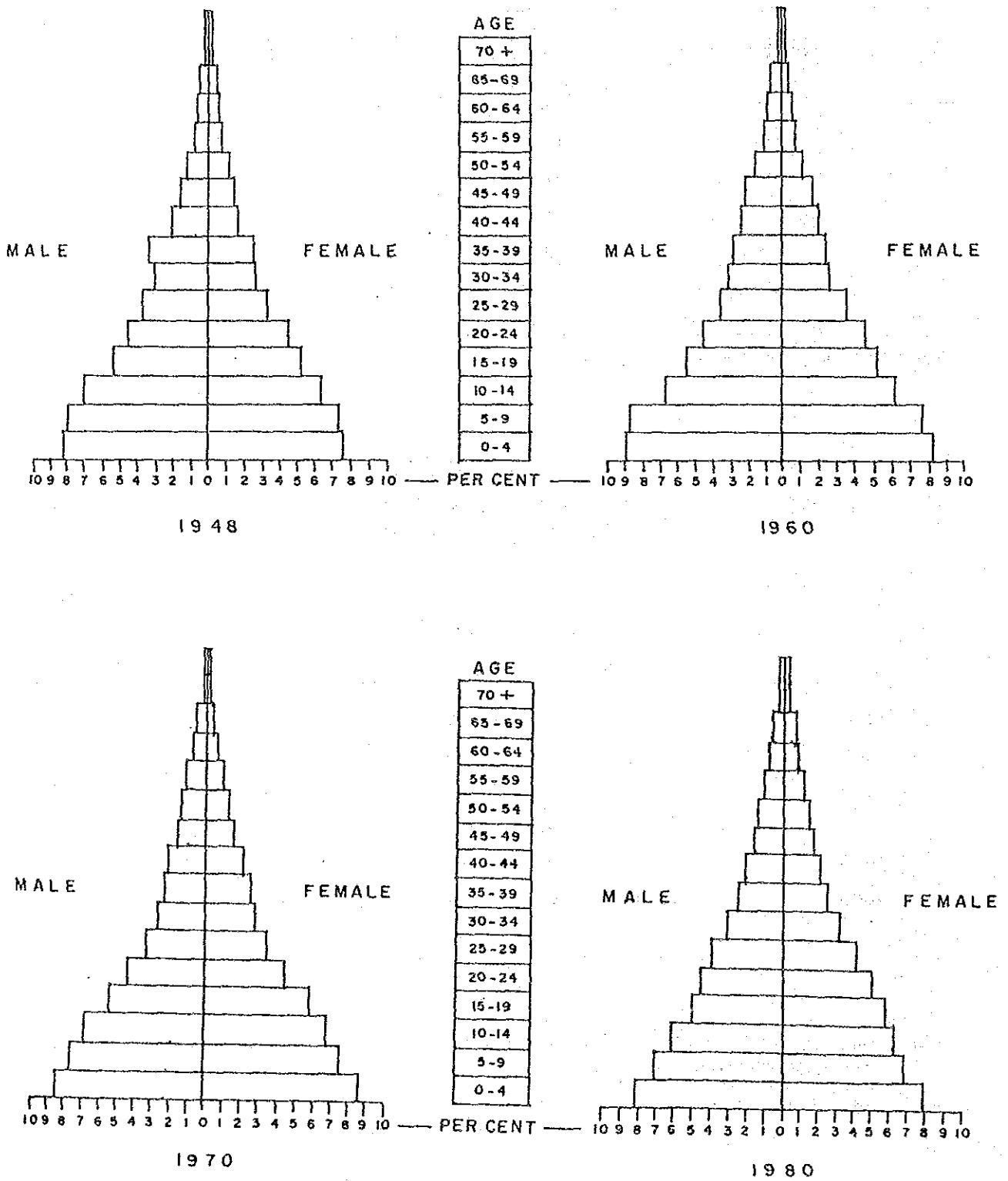


表 2 - 1 - 7 都市 - 農村人口の推移 (1970~80)

Table 1.3 -- MIDYEAR (1 JULY) POPULATION ESTIMATES BY URBAN AND RURAL RESIDENCE: 1950 to 1980

Year	Total Population	Urban	Rural
1950	20,274,800
1955	23,568,000
1960 (Feb.15) ¹	27,087,685
1965	31,880,868
1970 (May 6) ¹	36,684,486	11,677,820	25,006,666
1971	37,862,421	12,186,125	25,676,296
1972	38,914,239	12,644,689	26,269,550
1973	39,995,277	13,120,509	26,874,768
1974	41,106,345	13,164,233	27,942,112
1975 (May 1) ¹	42,070,660	14,046,527	28,024,138
1976	43,406,278	14,872,747	28,533,531
1977	44,584,324	15,619,210	28,965,114
1978	45,794,343	16,403,138	29,391,205
1979	47,037,201	17,226,412	29,810,789
1980 (May 1) ¹	48,098,460	17,943,897	30,154,563

Note: Data for 1971 to 1979, except 1975 are intercensal estimates.

¹ Census Year.

Source: National Census and Statistics Office.

表 2 - 1 - 8 都市化率の推移 (1903~80)

Table 4.1
LEVELS AND TEMPO OF URBANIZATION
CENSUS YEARS, 1903-1980

CENSUS YEAR	Level of Urbanization ^a	Tempo of Urbanization ^b
1903	13.1	-
1918	12.5	-0.32
1939	21.6	3.36
1948	27.0	3.09
1960	29.8	1.27
1970 ^c	32.9	1.45
1975	33.4	1.46 ^d
1980	37.3	3.54

^aPercent in urban areas. The 1963 urban definition was used for censuses prior to 1975. The 1970 definition was applied to 1975 and later censuses.

^bDifference between urban and rural rates of growth.

^c1963 urban definition was used in both 1960 and 1970 census data for comparability.

^dInitial 1970 population figures were based on the 1970 definition.

Sources: Various census reports and bulletins; Pernia (1978), Table 54.

表 2 - 1 - 9 県別人口と人口密度の推移 (1918~80)

Table 1.1 - POPULATION, LAND AREA AND DENSITY BY REGION AND PROVINCE; CENSUS YEARS 1918 to 1980

Region and province	Population (thousands)						
	1980 (May 1)	1975 (May 1)	1970 (May 6)	1960 (Feb. 15)	1948 (Oct. 1)	1939 (Jan. 1)	1918 (Dec. 31)
Philippines	48,097	42,070	36,681	27,085	19,254	16,003	10,314
Metropolitan Manila Area (National Capital Region)	5,926	4,970	3,967	2,462	1,569	993	460
Manila	1,630	1,479	1,331	1,139	984	623	285
Caloocan City	468	397	275	145	55	39	19
Pasay City	288	255	206	133	89	55	19
Quezon City	1,166	957	754	398	111	39	0
Las Piñas	136	82	46	16	9	7	3
Makati	373	334	265	115	41	34	13
Malabon	191	175	142	76	46	33	22
Mandaluyong	205	182	149	72	26	18	6
Marikina	212	168	113	40	24	15	9
Muntinlupa	137	95	65	22	19	9	5
Navotas	126	97	83	49	29	21	13
Parañaque	209	159	97	62	29	21	22
Pasig	269	210	157	62	35	28	17
Pateros	40	33	25	13	8	7	4
San Juan	130	122	105	57	32	19	6
Taquit	134	74	55	22	15	12	8
Valenzuela	212	151	98	41	17	13	9
Region I	3,541	3,269	2,991	2,427	1,943	1,729	1,376
Abra	160	147	146	115	87	88	73
Benguet	355	302	264	184	110	122	44
Ilocos Norte	391	372	343	287	251	238	219
Ilocos Sur	444	420	385	338	276	272	247
La Union	452	415	374	293	237	208	178
Ht. Province	103	94	93	86	62	59	49
Pangasinan	1,636	1,520	1,386	1,124	920	742	566

Land area (km ²)	Density (persons/km ²)						
	1980 (May 1)	1975 (May 1)	1970 (May 6)	1960 (Feb. 15)	1948 (Oct. 1)	1939 (Jan. 1)	1918 (Dec. 31)
300,000	160.3	140.2	122.3	90.3	64.1	53.3	34.4
636.0	9,317.4	7,814.5	6,236.9	3,871.8	2,467.0	1,561.3	723.3
38.3	42,571.4	30,619.2	34,746.4	29,728.7	25,699.5	16,279.2	7,449.2
55.8	8,383.8	7,118.3	4,918.5	2,607.9	980.8	695.7	350.4
13.9	20,702.9	18,345.2	14,840.5	9,544.8	6,383.3	3,968.4	1,345.1
166.2	7,014.8	5,757.3	4,539.4	2,394.6	658.9	234.7	0.0
41.5	3,289.5	1,966.5	1,102.0	387.8	223.6	164.4	69.2
29.9	12,462.6	11,185.5	8,860.1	3,830.8	1,382.4	1,121.4	421.8
23.4	8,162.4	7,473.4	6,047.6	3,266.6	1,985.3	1,422.4	927.1
26.0	7,898.7	7,010.3	5,746.4	2,754.6	1,011.9	700.0	223.3
38.9	5,439.9	4,330.4	2,915.2	1,040.0	600.3	389.9	245.3
46.7	2,926.7	2,024.9	1,393.1	468.8	394.9	198.9	100.9
2.6	48,517.7	37,345.4	32,017.3	18,946.9	11,111.2	8,023.5	5,174.6
38.3	5,445.2	4,150.7	2,538.2	1,616.1	754.2	551.6	577.6
13.0	20,659.2	16,147.3	12,037.8	4,779.2	2,723.6	2,118.5	1,289.8
10.4	3,873.8	2,155.9	2,148.8	1,266.6	805.8	688.5	395.5
10.4	12,508.5	11,778.0	10,053.6	5,467.4	3,028.2	1,814.4	593.5
33.7	3,980.3	2,187.0	1,693.7	648.5	455.2	358.7	249.9
47.0	4,518.4	3,204.4	2,094.8	882.4	356.2	286.6	198.4
21,568.4	164.2	151.6	138.7	112.6	90.1	80.1	63.8
3,975.5	40.3	37.0	36.6	29.0	21.8	22.1	18.4
2,655.4	113.6	113.0	99.3	69.2	41.4	45.9	16.5
3,399.3	114.9	109.4	101.0	84.5	74.0	70.0	64.4
2,579.6	172.0	162.7	149.3	131.1	107.1	105.4	95.8
1,493.1	303.1	277.7	250.3	196.5	159.0	139.3	115.2
2,097.3	49.1	44.9	44.4	40.9	29.6	28.1	23.4
5,368.2	304.8	283.2	258.2	209.4	171.5	138.2	105.4

表 2 - 1 - 10 労働力人口の推移(1980 ~ 86)

Table 11.1 - HOUSEHOLD POPULATION 15 YEARS OLD AND OVER BY EMPLOYMENT STATUS AND BY REGION: THIRD-QUARTERS, 1980 TO 1986

		Philippines		Metropolitan Manila Area (National Capital region)	
		1	2	1	2
Projected household population 15 years old and over: Number (in thousands)	1980	28,967	1,862	2,158	1,316
	1981	29,847	1,976	2,155	1,357
	1982	30,748	4,092	2,210	1,400
	1983	31,676	4,215	2,289	1,443
	1984	31,682	4,413	2,322	1,487
	1985	31,645	4,575	2,376	1,531
	1986	31,812	4,738	2,419	1,574
Percent in the labor force	1980	59.8	53.3	55.7	65.9
	1981	61.7	54.6	60.5	68.8
	1982	60.1	55.7	58.0	65.8
	1983	64.1	55.0	61.6	70.4
	1984	64.2	58.9	60.3	73.0
	1985	63.4	59.5	56.6	68.0
	1986	63.6	53.6	59.4	76.8
Percent of labor force: Employed	1980	95.0	89.5	97.2	96.1
	1981	94.7	88.4	95.6	95.1
	1982	94.0	86.8	94.8	95.3
	1983	94.6	87.8	95.0	97.2
	1984	93.8	83.7	97.3	95.0
	1985	92.9	77.9	94.3	94.2
	1986	93.3	80.7	95.4	92.1
Unemployed	1980	5.0	10.5	2.8	3.3
	1981	5.3	11.6	3.4	4.3
	1982	6.0	13.2	3.2	4.7
	1983	5.4	12.2	4.0	2.8
	1984	6.2	16.3	2.7	5.0
	1985	7.1	22.1	3.7	5.8
	1986	6.7	19.3	3.6	7.9
Percent of employed: Agriculture	1980	51.4	1.5	60.4	70.7
	1981	51.1	1.6	58.8	70.9
	1982	51.3	1.3	60.0	72.5
	1983	51.4	1.4	58.7	69.3
	1984	49.5	1.2	56.4	63.1
	1985	48.4	1.2	52.4	61.5
	1986	49.9	1.5	57.1	68.9
Non-agriculture	1980	48.6	98.5	39.6	29.3
	1981	48.9	98.4	41.2	29.1
	1982	48.7	98.7	40.0	26.5
	1983	48.6	98.6	41.3	30.7
	1984	50.5	98.8	43.8	36.9
	1985	51.6	98.8	47.6	38.5
	1986	50.1	98.5	42.9	31.1

Notes: Details may not add up to total due to rounding.
Source: National Census and Statistics Office.

Region											
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
2,880	2,954	2,013	2,702	2,276	1,642	1,426	1,625	1,993	1,324		
2,991	3,017	2,058	2,776	2,342	1,687	1,545	1,687	2,065	1,350		
3,086	3,089	2,104	2,851	2,406	1,731	1,590	1,746	2,151	1,385		
3,194	3,450	2,152	2,927	2,476	1,776	1,637	1,808	2,238	1,431		
3,299	3,269	2,200	3,001	2,543	1,820	1,686	1,911	2,327	1,469		
3,405	4,378	2,248	2,073	2,609	1,863	1,734	1,934	2,417	1,504		
3,512	4,522	2,294	3,144	2,674	1,906	1,782	1,959	2,509	1,541		
56.4	60.2	63.7	63.1	62.4	62.6	53.0	61.4	65.1	61.6		
56.8	61.5	66.4	63.4	66.0	63.8	51.6	67.6	68.5	62.5		
53.5	60.2	65.7	62.8	63.7	60.2	53.5	60.5	66.1	61.7		
55.5	63.8	73.0	70.4	69.3	61.8	53.9	72.1	69.9	65.6		
56.2	68.0	70.8	65.6	68.7	79.2	58.8	70.6	68.0	64.2		
56.5	61.2	70.3	64.7	66.9	72.8	59.0	67.8	68.0	63.6		
58.5	62.2	69.1	66.8	67.6	74.2	60.7	69.2	66.8	67.0		
94.0	94.9	97.4	95.8	96.4	96.0	94.4	94.9	96.0	96.1		
93.2	95.9	96.8	95.8	96.5	94.7	96.5	94.8	94.3	97.4		
93.3	93.7	97.0	95.8	95.8	96.3	93.8	94.5	93.4	96.3		
94.6	93.8	98.0	97.2	96.7	95.8	95.1	94.2	91.8	97.6		
93.3	93.4	96.1	95.5	97.5	92.4	97.0	96.8	94.4	96.9		
93.1	93.4	97.1	95.5	96.6	94.4	93.4	95.8	94.9	98.0		
93.0	94.4	96.0	95.6	97.1	94.5	95.1	94.2	94.2	97.9		
6.0	5.7	2.6	4.2	3.6	4.0	5.6	5.1	4.0	3.9		
6.8	4.1	3.2	4.2	3.4	5.3	3.3	5.2	5.7	2.6		
6.7	6.3	3.0	4.2	4.2	3.7	6.2	5.5	6.6	3.7		
5.4	6.4	2.0	2.8	4.3	3.2	4.9	5.8	8.2	2.4		
6.7	6.6	3.9	4.5	2.5	7.6	3.0	3.2	5.6	2.1		
6.9	6.6	2.9	4.5	3.4	6.6	4.6	4.2	5.1	2.0		
7.0	5.6	4.0	4.4	2.9	5.5	4.9	5.8	5.8	2.1		
38.3	45.5	61.9	61.4	56.9	70.0	61.8	57.8	63.1	68.5		
39.0	43.9	60.6	61.5	55.1	68.7	64.5	62.2	63.0	68.2		
38.1	45.2	61.3	59.5	55.0	72.0	68.7	63.0	61.6	69.5		
37.5	44.9	62.2	62.6	56.7	66.4	60.8	59.4	61.6	69.9		
37.1	41.1	59.2	61.3	52.4	68.1	65.1	55.7	63.1	62.3		
38.9	39.3	60.0	57.9	54.8	63.4	73.7	53.7	60.5	57.5		
37.5	43.9	56.9	59.7	53.3	68.5	64.4	55.6	59.3	63.7		
61.7	54.5	38.1	38.6	43.0	30.0	36.2	42.2	38.7	31.5		
61.0	58.1	39.4	38.5	44.9	31.3	25.5	37.8	38.9	31.8		
61.9	54.9	38.7	40.5	45.0	27.9	14.2	36.9	38.4	30.4		
62.6	55.1	37.8	37.4	43.3	33.6	39.2	40.6	38.4	36.1		
62.9	58.5	41.8	38.7	47.6	31.9	34.9	44.3	36.9	37.7		
61.1	60.7	40.0	42.1	46.0	30.6	24.3	46.3	39.5	42.5		
62.5	56.1	43.1	40.3	46.8	33.5	25.6	44.4	41.7	38.3		

表 2 - 1 - 11 産業別雇用者数 (1986)

Table 11.3 - EMPLOYED PERSONS BY MAJOR INDUSTRY AND BY MAJOR OCCUPATION GROUP AND BY REGION: THIRD QUARTER 1986 (In thousands)

Major industry/occupation group	Total	Metropolitan Manila Area (National Capital Region)	
		1	2
Industry	20,595	2,049	1,384 1,114
Agriculture, fishery and forestry	10,289	31	790 767
Mining and quarrying	150	1	38 4
Manufacturing	1,895	382	93 38
Electricity, gas and water	62	11	5 1
Construction	629	112	46 25
Wholesale and retail trade	2,814	444	142 79
Transportation, storage and communication	841	179	46 29
Financing, insurance, real estate & business services	390	187	18 8
Community, social and personal services	3,516	701	207 162
Industry not adequately defined	-	-	- -
Occupation	20,595	2,049	1,384 1,114
Professional, technical and related workers	1,144	203	72 72
Administrative, executive and managerial worker	182	55	11 6
Clerical and related workers	845	260	42 23
Sales worker	2,758	439	138 82
Service worker	1,615	364	86 61
Agricultural, animal husbandry and forestry workers; fishermen and hunters	10,179	31	791 761
Production and related workers, transport equipment operators and laborers	3,873	699	243 109
Occupation not adequately defined	1	-	- -

Source: National Census and Statistics Office.

	R e g i o n									
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1,910	2,656	1,523	1,949	1,754	1,336	1,028	1,301	1,579	1,011	
717	1,165	667	1,163	933	889	662	724	936	644	
8	9	13	6	24	3	2	18	24	-	
214	346	150	122	193	76	54	85	86	69	
7	6	5	5	5	1	4	7	3	3	
88	125	37	32	38	29	14	28	39	15	
306	393	186	252	219	164	120	170	217	123	
136	156	43	46	50	26	26	38	48	17	
39	41	15	12	19	7	10	13	16	5	
396	416	208	312	274	142	136	219	210	133	
1,910	2,656	1,523	1,949	1,754	1,336	1,028	1,301	1,579	1,011	
120	152	75	90	75	44	44	72	71	54	
17	24	9	13	15	3	5	11	9	6	
88	102	32	58	66	22	28	53	54	18	
303	399	185	245	211	155	116	167	207	119	
178	178	97	161	124	73	56	89	97	52	
711	1,161	663	1,144	924	888	660	704	901	642	
494	650	263	237	338	153	120	206	241	120	
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	

2-2. 人口動態の推移

(1) 粗出生率(Crude Birth Rate)

フィリピンにおける粗出生率(CBR)は推計者によって相違が認められる。

CBRの推移について、フィリピン大学人口問題研究所(UPPI)(A-表2-2-1より)とNEDA作成のもの(B)とを比較すると次のようになる。

	1960	1970	1980	1987	1988
(A)	46.0	39.3	33.6	-	30.8
(B)	46.0	44.5	39.2	31.3	-

出生率の実態を把握することは極めて難しいことをUSAIDの担当者も指摘している。表2-2-1はさらに地域別のCBRの推移を示している。

また、表2-2-2はCBRについては代表的な推計例を示したものであるが、これによれば1960年のCBRは40.8~51.9の幅をもっており、1970年のものは37.4~45.2の幅をもっていることがわかる。

(2) 合計特殊出生率(Total Fertility Rate)

フィリピンにおける合計特殊出生率(TFR)についても推計者によって若干の相違がみられる。TFRの推移について、UPPI(A-表2-2-3より)とNEDA作成のもの(B)とを比較すると次のようになる。

	1960	1970	1980	1987	1988
(A)	6.5	6.3	4.7	-	4.0
(B)	6.45	6.30	5.15	4.10	-

表2-2-3はさらに地域のTFRの推移を示している。また、女性の年齢別合計特殊出生率の推移は表2-2-4に示されている。

なお、上述のCBR、TFRの推計に用いられたフレーム・ワークを図2-2-1に示す。

(3) 粗死亡率(Crude Death Rate)

粗死亡率(CDR)の推移が、1970、80、88年について表2-2-5に示されている。また、1960年のCDRは13.7であるとUPPIは推計している。表2-2-5はまた地域別のCDRの推移も示している。CDRについて、代表的な推計例を表2-2-6に示す。これらの2つの表においてCDRの顕著な減少傾向が認められるが、数字そのものは極めて不完全であるとUSAIDは指摘している。

(4) 乳児死亡率(Infant Mortality Rate)

乳児死亡率(IMR)については、1930年から85年にいたる5年ごとの数字がUPPIによって明らかにされている(A-表2-2-7)。POPCOMがアレンジしたIMRの数値(B)が下に示されている。またNEDAが1926~77年の間の5カ年平均の数値を示している。(表2-2-8)。表2-2-7と表2-2-8の2つの表において、乳児死亡率の顕著な減少傾向が認め

られる。上の (A) と (B) を比較すると次のようである。

	1960	1970	1980	1985
(A)	73.1	60.0	45.1	48.0
(B)	105.5	93.0	63.2	56.6

このように2つの推計値は大きく異なっている。

(5) 妊産婦死亡率 (Maternal Mortality Rate)

妊産婦死亡率については、1965年から85年まで5年ごとの数字が示されている (表 2-2-7)。また、1984年における妊産婦の主要な死因が示されている (図 2-2-2)。

(6) 乳幼児死亡率 (Child Death Rate, Ages 1-4)

1才から4才を対象とする乳児死亡率は1965年と85年の2カ年のみが示されている (表 2-2-7)。

(7) 死亡因/疾病因 (Mortality/Morbidity)

疾病因についての1978年から84年までの推移と死亡因についての1946年から84年までの推移を示した統計が示されている (表 2-2-9、2-2-10)。

(8) 栄養失調 (Malnutrition)

栄養失調の動向については、1976年と1979年の2カ年について、地域別の動向が示されている (表 2-2-11)。

(9) 婚姻 (Marriage)

婚姻については結婚時期について年齢別性別の推移 (表 2-2-12)、及び既婚女性 (30~49才) の婚姻パターン (1978年) についての統計 (表 2-2-13) がある。

(10) 移動 (Migration)

国内の地域間移動については男女別の移動数がOD表により示されている (表 2-2-14)。また地域間の純移動率 (1000人当たり) が1960-70、1970-75、1975-80の3時期についての平均で示されている (表 2-2-15)。さらに男女別の純地域間移動数 (1970-75) について示されている (表 2-2-15a)。

(11) 人口将来予測 (Population Projection)

1980年のセンサスをベースに2030年まで5年きざみの将来人口予測が低位、中位、高位の3種類について、NEDAにより行なわれている (表 2-2-16、-17、-18)。

また、中期国家開発計画における人口予測は、1990年において6,150万人となっている (表 2-2-19) ので、これは上表の高位予測 (同年で6,190万人) とほぼ同じ数値を採用していることがわかる。

なお、2030年までの粗出生率と粗死亡率の予測が表 2-2-20に示されている。

表 2 - 2 - 1 出生率の推移 (1960, 70, 80, 88)

A. CRUDE BIRTHRATE : 1960-1980

REGION	1960	1970	1980	1988*
Philippines	46.0	39.3	33.6	30.8
NCR Metro Manila	43.1 ^a	33.6 ^a	28.9	26.7
I. Ilocos	42.0 ^b	34.8 ^b	31.5	29.1
II. Cagayan Valley	49.1	35.8	34.6	32.2
III. Central Luzon	42.9 ^c	37.3 ^c	31.0	28.7
IV. Southern Tagalog	43.0	35.3	33.0	29.7
V. Bicol	43.4	37.5	36.2	33.2
VI. Western Visayas	43.1	38.3	35.6	31.6
VII. Central Visayas	41.9	38.1	31.3	28.5
VIII. Eastern Visayas	44.9	42.6	34.3	32.0
IX. Western Mindanao	55.8 ^d	50.9 ^d	38.1	33.0
X. Northern Mindanao	52.8 ^e	49.0 ^e	36.6	32.3
XI. Southern Mindanao	51.2 ^f	47.4 ^f	36.7	32.4
XII. Central Mindanao	g	g	38.5	34.5

^a Does not include Muntinlupa, Metrol Manila.

^b Does not include Pangasinan.

^c Includes Pangasinan.

^d Excludes Basilan and Tawi-Tawi.

*Projections

^e Includes Lanao del Norte, Lanao del Sur, and Suriyao del Sur.

^f Excludes Surigao del Sur but includes Cotabato.

^g Some provinces were still combined with other Mindanao regions as stated in d to f and the other provinces constituting this region has not been created at that time.

Source: Cavigon, Josefina V. 1983, Trends and differentials in fertility. Table 6.6. In Population of the Philippines: Current Perspectives and Future Prospects. Mercedes B. Concepcion, ed. Metropolitan Manila: National Economic and Development Authority/Population Development Planning and Research Project.

表 2 - 2 - 2 粗出生率の推計例 (1948~77)

Table 6.1
ESTIMATES OF THE CRUDE BIRTH RATE,
1948-1977

SOURCE	PERIOD	CRUDE BIRTH RATE (Per 1000)
de Guzman	1948-1960	46.8-51.9
Madigan-Avanceña	1954-1960	44.2
Lorimer	1960	45.6
Smith	1960	42.0-43.4
de Guzman	1960	42.7-44.0
	1960-1970	40.8-45.2
	1970	40.0-42.7
University of the Philip- pines Population Institute	1970-1975	37.4
Concepcion; Cabigon	1975	34.8
Concepcion; Cabigon	1977	29.5-34.3

Sources: For 1948-1960: Eliseo A. de Guzman, "Trends and Differentials in Fertility." *Population of the Philippines*, UN ESCAP Country Monograph Series No. 5, (Bangkok: UN ESCAP, 1978); for original sources of figures, please refer to those cited in Table 91, (p. 117); for 1975 and 1977: Mercedes B. Concepcion, 1980, "Changing Fertility in the Philippines: When, How, Why", to appear in W. Mauldin, *Comparative Study of Fertility in Developing Countries*; Josefina V. Cabigon, 1983 "Assessment of National and Regional Crude Birth Rates (CBRs), Age Specific Fertility Rates (ASFRs) and Total Fertility Rates (TFRs)", Area Fertility Survey (AFS) Special Report No. 52 (Manila, UPPI).

表 2-2-3 合計特殊出生率の推移 (1960, 70, 80, 88)

B. TOTAL FERTILITY RATE : 1960-1980

REGION	1960	1970	1980	1988*
Philippines	6.5	6.3	4.7	4.0
NCR Metro Manila	5.1	4.0	3.0	2.7
I. Ilocos	6.4	5.5	4.7	4.0
II. Cagayan Valley	7.1	6.6	5.2	4.4
III. Central Luzon	6.4	5.8	4.3	3.7
IV. Southern Tagalog	6.3	5.7	4.7	4.0
V. Bicol	6.9	6.2	5.8	4.9
VI. Western Visayas	6.3	5.8	5.3	4.5
VII. Central Visayas	6.0	5.6	4.5	3.9
VIII. Eastern Visayas	6.9	7.7	5.6	4.8
IX. Western Mindanao	7.9	6.7	5.6	4.8
X. Northern Mindanao	6.9	7.4	5.4	4.6
XI. Southern Mindanao	7.4	6.9	5.4	4.6
XII. Central Mindanao	a	a	5.6	4.9

^aIncluded in Northern and Southern Mindanao in 1970 and in Northeastern and Southwestern Mindanao prior to 1970.

*Projections

Sources: For 1960 to 1975: Cabigon, Josefina V. Trends and Differentials in Fertility, Table 6.7. Mercedes B. Concepcion, ed. 1983. For 1980: Revised Population Projections for the Philippines and its Regions, 1980-2030.

表 2 - 2 - 4 年令別合計特殊出生率の推移

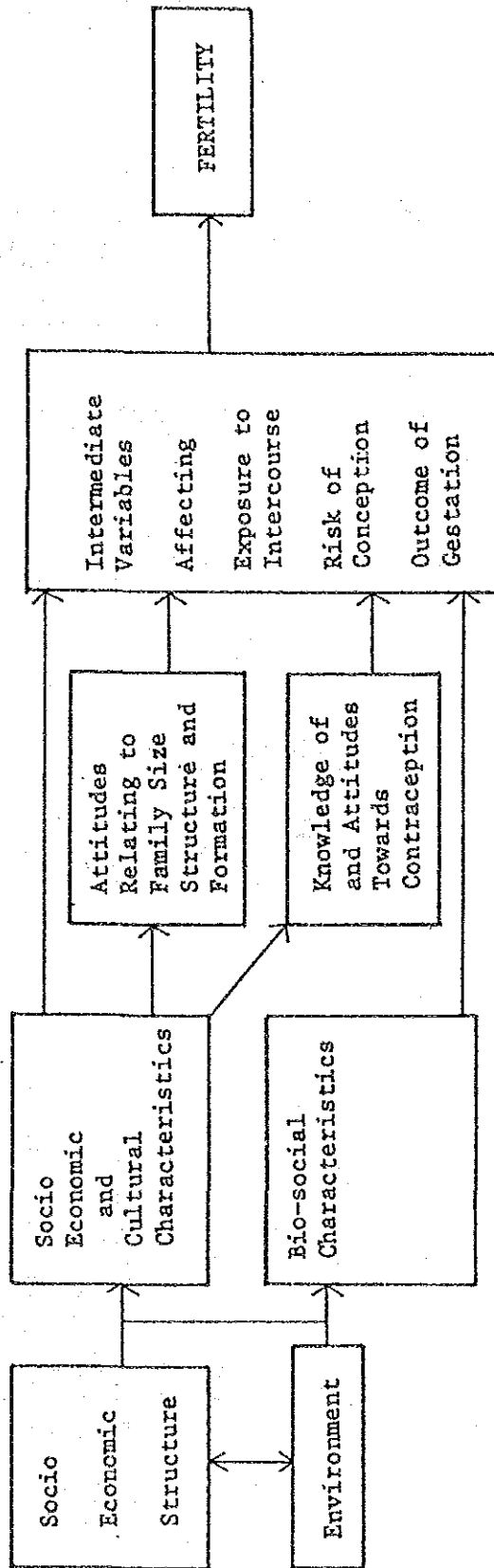
AGE-SPECIFIC FERTILITY RATES PER THOUSAND WOMEN AND TOTAL FERTILITY RATE PER WOMAN, 1960 TO 1977

PERIOD	BIRTHS PER THOUSAND WOMEN AGED							Total Fertility Rate
	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	
1960 (1958-62)	84	260	313	290	211	107	27	6.5
1965 (1963-67)	74	254	313	281	216	101	20	6.3
1970 (1968-72) ^a	67	247	307	291	225	130	-	6.3
1975 (1973-77)	46	205	248	238	179	89	26	5.2
1977	35	193	238	243	173	87	16	4.9
R A T E								
1960-1965								
Amount	-10	-6	0	-9	+5	-6	-7	-0.2
Percentage	-12	-2	0	-8	+2	-6	-26	-3.1
1965-1970								
Amount	-7	-7	-6	+10	+9	+29	-	0
Percentage	-9	-3	-2	+4	+4	+29	-	0
1970-1975								
Amount	-21	-42	-59	-53	-46	-41	-	-1.1
Percentage	-31	-17	-19	-18	-20	-31	-	-17.5
1975-1977								
Amount	-11	-12	-10	+5	-6	-2	-10	-0.3
Percentage	-24	-6	-4	+2	-3	-2	-38	-5.8
1960-1977								
Amount	-49	-67	-75	-47	-38	-20	-11	-1.6
Percentage	-58	-26	-24	-16	-18	-19	-41	-24.6
C H A N G E								

^a Refer to estimates based on the 1978 Republic of the Philippines Fertility Survey (RPFS) — proven to be more plausible than those based on the 1973 National Demographic Survey (NDS).
Source: Same as for Table 6.1.

Figure 6.1

AN OPERATIONAL FRAMEWORK FOR FERTILITY ANALYSIS
(An Adaptation for R. Freedman's theoretical framework)



Source: Strategies for the Analysis of World Fertility Survey Data. *WFS/Tech.* 449. Jan. 1977.

表 2 - 2 - 5 粗死亡率の推移

C. CRUDE DEATH RATE

REGION	1970	1980	1988*
Philippines	10.8	8.7	7.5
NCR Metro Manila	-	5.7	5.2
I. Ilocos	11.5	9.9	8.2
II. Cagayan Valley	12.5	10.6	9.0
III. Central Luzon	9.1	7.1	6.1
IV. Southern Tagalog	8.7 ^a	7.6	6.5
V. Bicol	11.3	9.2	7.9
VI. Western Visayas	10.5	9.0	7.8
VII. Central Visayas	10.2	8.7	7.5
VIII. Eastern Visayas	12.8	10.9	9.6
IX. Western Mindanao	13.3	14.3	12.4
X. Northern Mindanao	12.5	12.3	10.5
XI. Southern Mindanao	13.0	12.6	11.1
XII. Central Mindanao	13.4	14.3	12.5

^aIncludes Metropolitan Manila
*Projections

Sources: The 1970 death rates were computed from Flieger et. al. 1981. On the Road to Longevity. Cebu City. San Carlos Publications for 1980, death rates were obtained from the computer printout of the NEDA/ NCSO, 1983. Revised Population Projections for the Philippines and its Regions, 1980-2030.

表 2 - 2 - 6 粗死亡率の推計例

Table 5.1

INDIRECT ESTIMATES OF CRUDE DEATH RATES,
PHILIPPINES, 1903-1975

SOURCE	PERIOD	CRUDE DEATH RATE
Aromin ^a	1903	58.0
	1904-1905	26.8
	1906-1910	26.9
	1911-1915	25.3
	1916-1917	27.8
	1918-1919	47.0
	1920-1925	25.7
	1926-1930	26.0
	1931-1935	23.5
	1936-1941	23.3
	1942-1945	31.9
	1946-1950	21.8
	1951-1955	17.9
1956-1960	14.5	
Zablan ^b	1960	13.7
	1965	12.6
	1970	11.8
Flieger ^c	1971	11.6
Mijares ^d	1973	9.6
Flieger ^e	1975	8.7

^aBasilio B. Aromin, "The Trend of Mortality in the Philippines: 1903-1960," *The Statistical Reporter*, Vol. V, No. 3, July 1961.

^bZelda C. Zablan, "The evaluation of existing mortality estimates, Philippines, 1902-1973," Research Notes No. 82 (Manila, Population Institute, University of the Philippines, 1975).

^cWilhelm Flieger, "Some Comments on Current Mortality Information in the Philippines," (Makati, Population Center Foundation, 1974).

^dTito Mijares. *The Development and Maintenance of a Sample Vital Registration System in the Philippines* (Manila, National Census & Statistics Office, 1974).

^eWilhelm Flieger, et. al., *On the Road to Longevity*, San Carlos Publications, Cebu City, 1981

表2-2-7 乳幼児死亡率、妊産婦死亡率の推移 (1930~85)

TABLE 2.3: TRENDS IN INFANT, CHILD AND MATERNAL MORTALITY AND LIFE EXPECTANCY, 1930-1985

YEAR	INFANT MORTALITY RATE	o e o	MATERNAL MORTALITY RATE	CHILD DEATH RATE (Ages 1-4)
1930	165.0			
1935	153.4	40.0 (1938)		
1940	135.8			
1945	*	42.5-45.0 (1948)		
1950	101.6			
1955	84.3			
1960	73.1	62.8-53.3		
1965	68.5	58.7 (1968)	2.0	11.0
1970	60.0	57.6-59.6	1.9	
1975	53.3	59.3	1.4	
1980	45.1	61.6	1.1	
1984	39.4		0.8	
1985	48**	63.1	0.8	4.0

* no data

**

derived from the world Development Report, 1987
 Source: Zablan, Zelda C. (1987) Maternal and Infant/Child
 Health, Nutrition and Mortality: Levels, Trends and
 Determinants UPPI, Q.C.

表 2 - 2 - 8 乳児死亡率の推移 (1926~77)

Table S.5

FIVE-YEAR AVERAGE INFANT MORTALITY RATES, 1926-1977

PERIOD	INFANT MORTALITY RATE (per 1,000 livebirths)	AVERAGE ANNUAL RATE OF DECLINE (Percentage)
1926-1930	157.3	-
1931-1935	150.5	-0.9
1936-1940	138.5	-1.6
1941-1947	-	-
1948-1952	106.2	-2.2
1953-1957	91.8	-2.9
1958-1962	73.0	-4.5
1963-1967	65.5	-2.1
1968-1972	63.7	-0.6
1973-1977	58.1	-1.8

Sources: Philippine Health Statistics Series 1926-1972 (Manila, Disease Intelligence Center, Department of Health); Philippine Vital Statistics Report Series 1972-1977 (Manila, NCSO/NEDA).

图 2 - 2 - 2 妊娠婦死亡因 (1984)

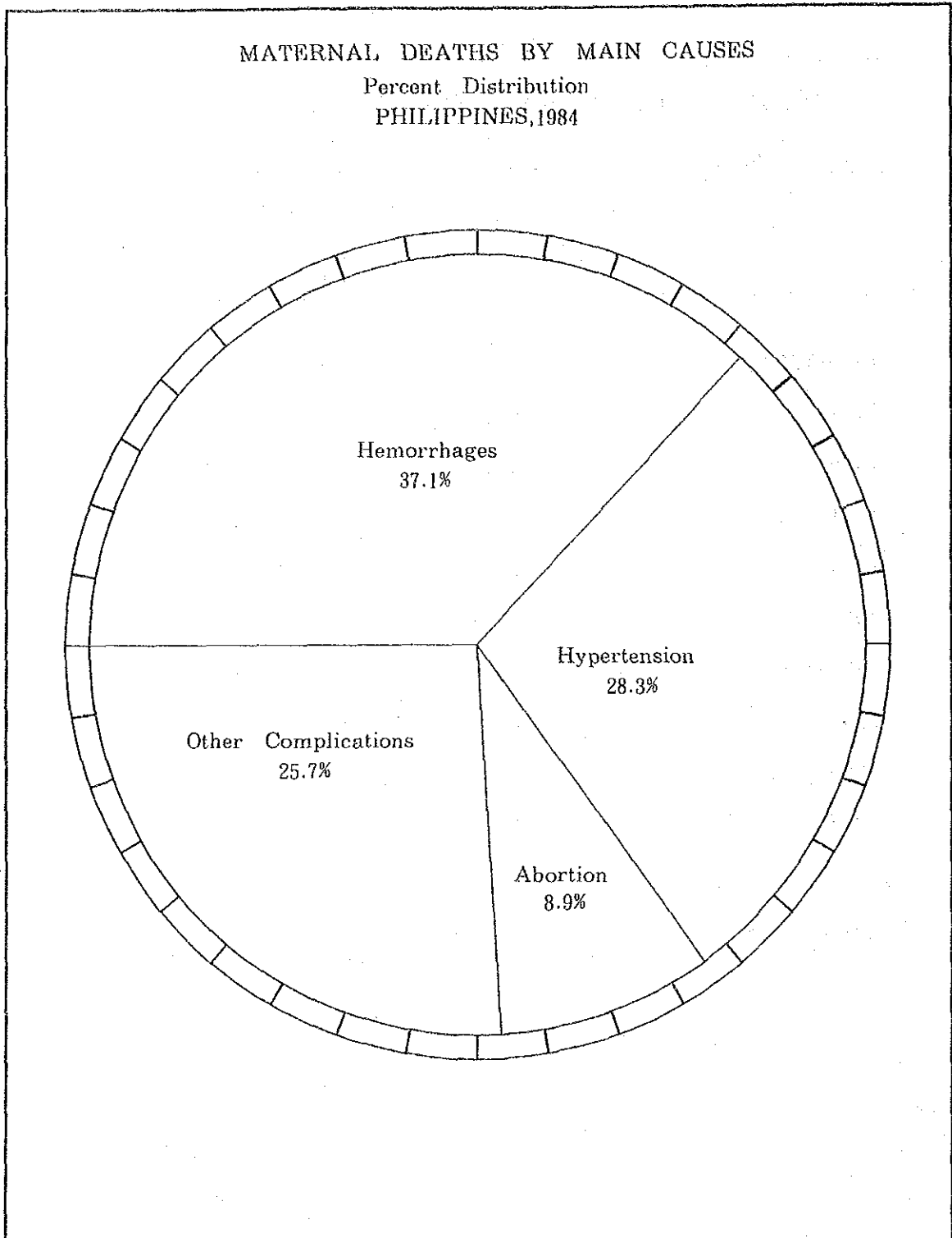


表 2 - 2 - 9 主要疾病因の推移 (1978~84)

TABLE 2.5: TRENDS IN LEADING CAUSES OF MORBIDITY

CAUSES	ICO NO.	YEAR							PERCENT CHANGE					
		1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1978-1979	1979-1980	1980-1981	1981-1982	1982-1983	1983-1984
Bronchitic	490-493	455.6	471.3	427.3	507.1	552.2	577.8	1039.5	3.5	-9.3	18.7	8.9	4.6	79.9
Influenza	470-474	488.7	406.0	419.9	445.5	445.5	447.9	783.3	-16.9	3.4	6.1	0.0	0.3	74.9
Diarrheas	008-009	462.6	466.2	413.0	482.7	435.6	443.6	962.6	0.8	-11.4	16.8	-9.8	1.8	108.9
Pneumonias	480-486	248.8	272.2	242.7	248.6	108.3	237.3	337.6	9.4	-10.8	2.4	-56.4	119.3	42.1
Tuberculosis, All Forms	010-019	260.5	233.6	232.4	253.8	206.2	179.2	268.0	10.3	-0.5	1.3	-12.6	-13.1	49.6
Malaria	084	77.7	68.2	82.1	89.1	68.9	88.0	207.4	-12.2	20.4	8.5	-22.7	27.7	135.7
Malignant Neoplasias	140-209	43.6	43.4	59.8	50.0	-	49.7	50.6	-0.3	37.8	-16.4	-	-	-
Dysentery, All Forms	004-006	60.7	60.7	56.7	54.4	66.7	-	-	0.0	-6.6	-4.0	22.6	-	-
Measles	055	61.2	62.8	55.4	54.6	67.3	71.7	126.5	2.6	-11.8	-1.4	23.3	6.5	76.4
Whooping Cough	033	33.5	-	41.1	38.7	31.3	27.4	-	-	-	-0.1	-19.1	-12.5	-
Infectious Hepatitis	070	-	19.0	-	-	16.3	17.6	28.3	-	-	-	-	6.7	60.8
Accidents	800-999 EB00-049	-	-	-	-	-	-	156.8	-	-	-	-	-	-

SOURCE: Philippine health Statistics, 1978-1984,
Health intelligence Service, MOH

表 2 - 2 - 10. 主要死亡因の推移 (1946~84)

TABLE 2.4: TREND IN LEADING CAUSES OF MORTALITY

CAUSES	DEATH RATE PER 100,000 POPULATION																		
	1946	1950	1955	1960	1965	1970	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
Pneumonia	197.4	136.7	106.6	100.4	121.2	118.2	125.1	119.8	111.2	102.0	107.6	105.0	98.5	105.2	93.6	87.1	89.5	93.6	89.3
Respiratory tuberculosis	167.2	135.5	97.6	92.1	83.4	77.0	73.3	64.8	69.3	63.6	67.2	67.7	58.6	60.6	59.6	55.1	55.7	55.0	52.9
Bacillary dysentery	58.7	57.7	56.7	60.5	46.0	35.0	44.0	8.0	9.6	27.8	35.5	40.1	33.9	-	-	-	-	-	-
Heart disease	-	18.7	34.7	27.6	33.6	34.0	43.5	59.5	67.9	68.3	19.6	73.5	66.6	63.3	60.8	68.7	72.3	70.9	61.0
Ill defined disease of early infancy	-	-	-	32.5	-	19.1	39.9	6.4	7.4	6.3	9.1	11.5	11.2	-	-	-	-	-	-
Accidents	-	-	17.4	14.6	23.2	24.8	37.0	11.4	10.7	10.3	17.5	16.7	17.2	24.4	18.7	19.2	11.5	11.2	16.3
Disease of vascular system	-	-	-	20.6	27.9	35.8	32.9	17.6	18.9	17.4	17.0	18.3	24.3	43.8	43.8	42.6	42.4	51.9	39.6
Nutritional deficiency	145.7	113.6	92.8	54.4	49.9	25.5	31.4	34.5	30.3	26.0	25.4	22.3	18.9	17.6	15.3	13.9	11.9	13.6	13.4
Malignant neoplasia	-	8.6	11.7	18.2	22.2	25.6	26.3	25.6	26.9	25.8	26.6	27.7	28.3	33.2	33.2	32.4	25.3	34.6	30.2
Bronchitis	129.7	109.6	73.9	57.2	43.1	27.9	23.7	21.9	17.1	15.4	16.3	14.1	12.8	-	-	-	-	-	-
Tetanus	6.6	5.9	7.4	9.4	10.4	10.1	9.3	9.0	9.2	10.0	9.4	8.4	7.5	-	-	-	-	-	-
Influenza	51.3	26.1	14.1	7.1	7.3	7.2	8.4	5.9	7.1	5.1	6.4	6.9	4.1	-	-	-	-	-	-
Measles	91.0	38.3	15.6	3.7	8.7	4.5	5.3	12.1	8.6	8.5	11.6	11.8	12.1	12.0	10.7	14.0	14.1	17.9	9.8
Dysentery	34.7	7.0	3.9	1.4	3.7	2.4	2.2	1.9	1.6	1.4	2.1	2.6	2.7	-	-	-	-	-	-
Malaria	11.8	4.1	2.8	5.8	5.0	1.8	1.7	2.1	2.3	2.4	2.3	2.2	2.3	-	-	-	-	-	-
Diarrhes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35.8	27.9	32.7	25.1	29.0	27.8
Nephritis, nephrotic syndrome, nephrosis	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.9	9.3	9.0	8.8	9.3	8.5
Others	615.9	457.2	364.8	264.5	264.4	221.1	226.0	306.1	289.6	211.0	311.8	257.8	241.7	-	-	-	-	-	-

SOURCES: Philippine Health Statistics Series 1926-1972 (Manila, Disease Intelligence Center, Department of Health); Philippine Vital Statistics Report series 1972-1977 (Manila, NCSD/NEDA); Philippine Health Statistics 1981-1984 (Health Intelligence Service, Ministry of Health, Manila).

表 2 - 2 - 11 栄養失調の動向 (1976, 79)

TABLE 2.6: TRENDS IN MALNUTRITION BY REGION AND TARGETTED AREAS 1970-1985

	REGION	* 1976	* 1979
	PHILIPPINES	30.6	32.6
	NCR	30.4	31.2
I.	Ilocos	31.0	30.8
II.	Cagayan	29.3	28.7
III.	Central Luzon	32.3	42.5
IV.	Southern Tagalog	29.2	28.8
V.	Bicol	30.6	40.0
VI.	Western Visayas	39.0	34.8
VII.	Central Visayas	27.0	28.2
VIII.	Eastern Visayas	36.6	39.7
IX.	Western Mindanao	28.9	30.2
X.	Northern Mindanao	28.2	25.8
XI.	Southern Mindanao	24.9	26.1
XII.	Central Mindanao	27.7	23.2

* Includes only 2nd and 3rd degree cases

Source: Diamson, B. and F.S. Villamejor "Philippine Malnutrition Update" in Iglesias et. al. (eds.) *Severe malnutrition of Filipino Pre-school Children*, UCPA (Manila).

Table 7.1

TRENDS IN MARRIAGE TIMING AND NON-MARRIAGE,
MALES AND FEMALES, 1948-1975^a

INDICATOR	CENSUS YEAR			
	1948	1960	1970	1975 ^b
A. Female				
Percent Never-Married				
15-19	85.1	87.3	89.2	87.6
20-24	40.7	44.3	50.3	51.2
25-29	18.8	19.5	21.5	24.3
30-34	12.6	11.6	11.7	12.1
35-39	9.5	8.1	8.0	8.2
40-44	8.7	7.6	7.3	6.8
Per cent Never Marrying	6.9	7.0	6.7	6.1
Singulate mean age at marriage (years)	22.1	22.3	22.8	23.2
B. Male				
Percent Never-Married				
15-19	97.0	97.0	97.6	96.7
20-24	64.8	65.5	69.3	69.1
Percent Never Marrying	3.5	3.1	3.5	5.2
Singulate mean age at marriage (years)	25.0	25.0	25.4	25.5

^aData for 1948-1970 taken from Table 113, Smith (1978).^bCalculated from 1975 Census report.

Table 7.7
INDICATORS OF MARRIAGE PATTERN OF EVER-MARRIED WOMEN
AGED 30-49, BY SELECTED PARTNER'S CHARACTERISTICS, 1978

PARTNER'S CHARACTERISTICS	PERCENTAGE MARRIED ^a			MEAN	NUMBER OF
	Below 18	Below 20	Over 26	AGE AT UNION	
All Women	27.9	49.2	12.6	20.4	5994
A. Childhood Residence					
Town	22.2	38.1	17.9	21.4	1812
Rural	30.5	54.2	10.4	19.9	4150
B. Education					
No Schooling	49.5	66.6	8.3	18.6	374
Primary	37.5	60.2	8.0	19.4	1646
Intermediate	28.1	52.4	9.4	20.0	1762
High School	22.8	44.5	13.5	20.8	1332
College	8.9	22.2	28.2	23.1	879
C. Occupation					
Nonmanual	15.7	31.4	22.6	22.2	1062
Manual	24.2	45.0	13.3	21.9	1782
Farm	34.8	58.4	8.6	19.5	3025
Did not work	13.6	27.3	22.7	22.6	22
D. Literacy					
Can Read	25.4	47.0	13.3	20.6	5223
Cannot Read	45.6	64.4	7.8	18.8	770

^aBase is number of ever-married women who married under age 40.
Source: 1978 Republic of the Philippines Fertility Survey.

表 2 - 2 - 14 国内移動の動向(1970 ~ 75)

Table 1.8 -- INTER-REGIONAL MIGRANTS IN THE PHILIPPINES, BY SEX: 1975-1980

Region of destination	Region					
	All regions of origin			Metropolitan Manila Area (National Capital Region)		
	Both Sexes	Male	Female	Both Sexes	Male	Female
All regions of destination	1,148,297	532,378	615,899	204,778	100,271	104,507
Metropolitan Manila Area (National Capital Region)	378,878	151,291	227,587	-	-	-
Region 1	35,588	16,439	19,149	12,447	5,916	6,531
Region 2	33,259	17,653	15,606	4,081	2,425	2,456
Region 3	101,844	46,611	55,233	42,388	20,530	21,858
Region 4	183,077	90,133	92,944	90,817	45,283	45,534
Region 5	36,939	18,384	18,555	15,957	7,621	8,336
Region 6	33,523	16,347	17,176	11,128	5,183	5,945
Region 7	51,757	24,964	26,793	6,181	2,974	3,207
Region 8	27,605	13,624	13,981	9,560	4,501	5,059
Region 9	28,141	14,690	13,451	1,213	635	578
Region 10	92,323	47,675	44,648	3,990	1,991	1,999
Region 11	89,017	45,952	43,065	4,083	2,282	2,181
Region 12	56,326	28,615	27,711	1,833	930	903

	of origin					
	1			2		
	Both Sexes	Male	Female	Both Sexes	Male	Female
87,578	40,222	47,356	36,208	15,306	20,902	
42,682	17,246	25,436	16,002	5,707	10,295	
0	-	-	6,567	2,998	3,569	
13,004	6,978	6,026	0	-	-	
12,937	5,865	7,072	3,908	1,753	2,155	
9,400	5,012	4,388	3,596	1,659	1,937	
1,195	531	664	568	288	280	
779	422	357	465	217	248	
975	558	417	1,079	540	539	
477	260	217	255	107	148	
588	297	291	726	392	334	
1,333	733	594	1,049	540	509	
2,002	1,069	933	1,287	728	559	
2,206	1,245	961	706	377	329	

表 2 - 2 - 15 地域間純移動率

Table 8. NET MIGRATION RATES (PER THOUSAND) BY REGION:
PHILIPPINES 1960-1970, 1970-1975 and 1975-1980

REGION	1960-1970	1970-1975	1975-1980
NCR Metro Manila	127.1	15.1	32.4
I. Ilocos	-32.6	-16.9	-14.6
II. Cagayan Valley	15.7	-2.3	-1.4
III. Central Luzon	-27.9	5.9	-0.4
IV. Southern Tagalog	8.7	4.2	12.3
V. Bicol	-17.0	-10.3	-18.4
VI. Western Visayas	-64.2	-4.1	-16.5
VII. Central Visayas	-96.2	-12.1	-17.4
VIII. Eastern Visayas	-86.3	-2.0	-25.7
IX. Western Mindanao	43.0	-11.7	-3.9
X. Northern Mindanao	71.2	15.9	14.1
XI. Southern Mindanao	159.2	11.8	9.0
XII. Central Mindanao	2.0	-9.3	8.1

Source: Computed from special tabulation provided by the National Census and Statistics Office as cited in the Philippines: Population Trends and Dilemmas by Mercedes B. Concepcion, Philippine Population Journal, Volume I, No. 1.

表 2 - 2 - 15a 男女別純地域間移動数

Table II.10
NET-MIGRATION ESTIMATES, 1970-1975

Region	Net Migration (Both Sexes)	Net Migration Rate	Males	Females
National Capital Region	67,198	15.0	10,913	56,285
I Ilocos	-41,070	-13.1	-19,898	-21,172
II Cagayan Valley	-4,148	-2.2	-224	-3,924
III Central Luzon	26,931	6.8	14,654	12,277
IV Southern Tagalog	20,383	4.2	15,418	4,965
V Bicol	-31,585	-10.2	-12,632	-18,953
VI Western Visayas	-15,879	-4.0	-5,160	-10,719
VII Central Visayas	-38,706	-12.0	-16,862	-21,844
VIII Eastern Visayas	-5,042	-2.0	453	-5,495
IX Western Mindanao	-22,867	-11.6	-10,978	-11,889
X Northern Mindanao	35,985	16.8	19,211	16,774
XI Southern Mindanao	27,535	11.2	14,146	13,389
XII Central Mindanao	-18,735	-9.3	-9,041	-9,694

*Please refer to Module Prototype II for the computation of the net migration rate.

Source: National Census and Statistics Office.

表 2 - 2 - 15 性别·年龄别人口予測 (低位子推)

TABLE 2. POPULATION PROJECTIONS FOR THE PHILIPPINES, ITS REGIONS AND PROVINCES, BY AGE AND SEX: 1980-2030
(LOW ASSUMPTION: RAPID FERTILITY DECLINE AND MODERATE MORTALITY DECLINE)

PHILIPPINES

AGE/SEX	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030
MALE											
0-4	3949537	3963030	4012977	3848286	3482832	3369524	3593530	3724511	3722874	3604554	3474882
5-9	3411164	3859708	3888023	3951717	3802335	3451232	3344673	3573065	3707754	3709654	3596131
10-14	3048967	3384586	3833354	3865258	3932272	3786845	3439421	3335134	3564599	3700479	3703326
15-19	2577791	3022691	3358598	3807488	3842658	3912510	3770494	3426769	3324791	3555133	3691869
20-24	2219731	2544549	2987627	3324057	3773383	3812892	3886374	3748877	3409946	3310828	3541955
25-29	1926466	2185157	2509093	2950880	3288690	3738842	3785928	3860400	3727565	3392382	3296706
30-34	1527566	1893811	2151978	2475638	2916972	3256338	3707473	3756052	3837181	3708522	3378217
35-39	1233201	1456758	1859475	2117740	2442516	2882411	3223288	3675493	3728527	3813108	3488115
40-44	1050668	1201178	1461741	1820578	2078654	2402148	2842029	3184271	3637099	3644710	3782297
45-49	828336	1033285	1161926	1418239	1715222	2026330	2350463	2787822	3130536	3582434	3644257
50-54	685908	786491	965198	1110635	1340486	1705177	1959092	2277793	2709708	3050584	3497852
55-59	530743	635234	731386	901206	1041329	1281197	1612736	1860506	2171931	2592476	2926478
60-64	442907	473161	569137	658622	815700	947590	1172792	1484126	1720983	2018426	2418057
65-69	350759	372437	400533	484350	564850	704339	824326	1027905	1309566	1527487	1800796
70-74	216957	249798	288418	312651	381875	448891	568037	667473	840380	1078750	1266269
75+	230724	243505	289052	327017	385097	435659	525836	661709	815886	1030047	1329664
ALL AGES	24231626	27344979	30468566	33378062	35860171	38163922	40600492	43081906	45359126	47372574	49036871
FEMALE											
0-4	3751366	3786655	3830617	3667805	3312735	3199701	3408808	3528616	3521800	3407122	3278177
5-9	3224182	3677060	3725321	3781153	3630891	3287423	3179713	3332101	3514437	3510091	3396889
10-14	2927882	3261830	3655331	3707107	3766073	3619282	3278880	3172844	3385900	3508969	3505073
15-19	2761713	2906090	3181366	3635598	3690416	3752122	3608236	3270592	3166094	3379608	3502968
20-24	2383342	2673306	2879458	3153300	3611248	3669763	3735036	3594764	3260128	3157297	3370941
25-29	1945178	2358019	2642537	2850659	3159148	3585095	3647962	3716770	3579641	3248073	3146519
30-34	1484598	1915491	2326237	2611404	2821519	3101915	3559177	3625870	3672220	3562941	3233924
35-39	1194929	1457920	1684860	2293336	2578974	2791191	3073531	3531371	3600952	3674450	3542414
40-44	1036253	1170780	1429218	1851510	2256980	2542701	2758861	3040376	3697361	3569303	3643836
45-49	839483	1007410	1140765	1393643	1811636	2212713	2497747	2712850	2996107	3490172	3523157
50-54	707128	807601	971663	1109971	1332663	1759984	2154758	2437457	2652125	2933141	3380479
55-59	568789	669135	766675	925176	1032275	1295749	1691270	2076214	2354029	2565969	2841054
60-64	466703	523677	618675	711759	802159	985498	1217909	1595734	1965114	2233990	2438157
65-69	370838	410160	462918	549718	635757	774203	890218	1106434	1456324	1799172	2048697
70-74	225346	301632	355763	481664	456216	531416	652230	755410	945487	1250414	1548521
75+	249147	276271	350705	418713	489900	585779	709807	861110	1036211	1282952	1661465
ALL AGES	24024877	27143037	30292111	33040576	35459590	37694625	40053143	42418515	44628930	46532964	48062271
BOTH SEXES	48316503	54488016	60670677	66615636	71319761	75858547	80653635	85470421	89988026	93905338	97099142

表 2-2-17 性别·年令别人口予推 (中位予推)

TABLE 2. POPULATION PROJECTIONS FOR THE PHILIPPINES, ITS REGIONS AND PROVINCES, BY AGE AND SEX: 1980-2030
(MEDIUM ASSUMPTION: MODERATE FERTILITY DECLINE AND MODERATE MORTALITY DECLINE)

PHILIPPINES

AGE/SEX	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030
MALE											
0-4	3949537	4055297	4336919	4467719	4463626	4320057	4028225	3945846	4113759	4181400	4133866
5-9	3411164	3859708	3976161	4270303	4413941	4422677	4288560	4005559	3928040	4099318	4169283
10-14	3048967	3384586	3833394	3954818	4249239	4395912	4407495	4276360	3996093	3920331	4092324
15-19	2577791	3022691	3358598	3807488	3931735	4227933	4376998	4391353	4263029	3985419	3911221
20-24	2219731	2544549	2987627	3324057	3773383	3901313	4199734	4351956	4369857	4245069	3970596
25-29	1926466	2185157	2509093	2950880	3288690	3738842	3870662	4171676	4327229	4348642	4326951
30-34	1527566	1893611	2151978	2475638	2916972	3258338	3707473	3843172	4146599	4305134	4328222
35-39	1232201	1496758	1859475	2117740	2441516	2882421	3232288	3675493	3815098	4120619	4281489
40-44	1050668	1201178	1461741	1820573	2078654	2402148	2846271	3186271	3637099	3780499	4087403
45-49	828536	1013285	1161926	1418239	1771522	2028330	2350443	2787822	3130536	3582434	3728983
50-54	685909	786491	965198	1110635	1360486	1705177	1999092	2277793	2709708	3050584	3497852
55-59	530743	635234	738396	901206	1041359	1281897	1461273	1860506	2171931	2592476	2826478
60-64	442907	473161	569137	658622	815700	947590	1172792	1486126	1720983	2018426	2418057
65-69	350759	372437	480533	484850	564850	704329	824226	1027905	1309566	1527467	1800796
70-74	218957	269798	288418	312851	391875	448891	558037	667473	840380	1078750	1266269
75+	230724	243305	289052	327017	365097	435659	525836	661709	815886	1030047	1329664
ALL AGES	24231626	27437246	30882646	34402641	37858613	41098814	43934746	46613020	49295733	51866635	54170454
FEMALE											
0-4	3751366	3874704	4139714	4258018	4245424	4102458	3921270	3738281	3891751	3950161	3899857
5-9	3244182	3677060	3811647	4085938	4214824	4212709	4077132	3802778	3723212	3878754	3938258
10-14	2927892	3201830	3792969	3792969	4069594	4203303	4201619	4068364	3795855	3717414	3873295
15-19	2701713	2906090	3181366	3635598	3775921	4054554	4188519	4191043	4059672	3788768	3711064
20-24	2389342	2873306	2879458	3156300	3011248	3754819	4036123	4172912	4177675	4048349	3779033
25-29	1945178	2358019	2642557	2850659	3129148	3585095	3732537	4016409	4155386	4162261	4034448
30-34	1484598	1915491	2326237	2611404	2821519	3101915	3559437	3709945	3995306	4136032	4144168
35-39	1196929	1457920	1866860	2293336	2578974	2791191	3073531	3531371	3684483	3970738	4112256
40-44	1036259	1170780	1429218	1821510	2256980	2542701	2786861	3040378	3697361	3652148	3937722
45-49	839483	1007410	1140765	1395643	1811636	2212713	2497747	2712850	2996107	3459172	3605015
50-54	707128	807601	971643	1192971	1352663	1759984	2154758	2437457	2652325	2933141	3380479
55-59	548789	669335	766677	925176	1053275	1295769	1631270	2076214	2354029	2545969	2841054
60-64	466703	523677	618675	711759	862159	983498	1217909	1595734	1965114	2233390	2428157
65-69	370838	410160	462918	549778	635757	774203	890218	1106434	1456324	1799172	2048697
70-74	225246	303632	335763	381664	456216	531416	632230	755410	945467	1250414	1548521
75+	249147	276271	350705	418713	489900	585779	700807	861110	1036211	1282852	1661465
ALL AGES	24084677	27231086	30597534	34021436	37365238	40492107	43251703	458616590	48386098	50819735	52953419
BOTH SEXES											
48316503	54668332	61480180	68424077	75223873	81590921	87206449	92429710	97521831	102686370	107123873	

表 2 - 2 - 10 性别·年令别人口子源 (高位子源)

TABLE 3. POPULATION PROJECTIONS FOR THE PHILIPPINES, ITS REGIONS AND PROVINCES, BY AGE AND SEX: 1980-2030 (HIGH ASSUMPTION; SLOW FERTILITY DECLINE AND MODERATE MORTALITY DECLINE)

PHILIPPINES

AGE/SEX	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030
MALE											
0-4	3949537	4103197	4501880	4782368	4961518	5041757	5027859	4919731	4681292	4578240	4446251
5-9	3411184	3859708	4024962	4452633	4724611	4915817	5004810	4999316	4891694	4664980	4564947
10-14	3048967	3384586	3833394	4001319	4410743	4705292	4898924	4990557	4975542	4888088	4657025
15-19	2577791	3022691	3358590	3807488	3977986	4388654	4685071	4881016	4975033	4974260	4876586
20-24	2219731	2544549	2987627	3324057	3773303	3947227	4359403	4658385	4857144	4954103	4955794
25-29	1926456	2185157	2509093	2950880	3288690	3738842	3916223	4330281	4631821	4833569	4932965
30-34	1527566	1893611	2151978	2475638	2916972	3256328	3707473	3888415	4304256	4608175	4811989
35-39	1233201	1496758	1859475	2117740	2441516	2882421	3223288	3675493	3859960	4277309	4582891
40-44	1050668	1201178	1461741	1820578	2078454	2402148	2842029	3184271	3637099	3825065	4242869
45-49	828536	1013285	1161926	1418239	1771322	2020330	2350463	2787822	3130536	3582434	3772877
50-54	685909	786491	945198	1110635	1360486	1703177	1959092	2277793	2709708	3050584	3497852
55-59	530743	635234	731396	841329	1041329	1281197	1612736	1860506	2171931	2592476	2926478
60-64	442907	473161	569137	658622	815700	947590	1172792	1484126	1720983	2018426	2418057
65-69	350759	372437	400533	494850	564350	704329	824326	1027905	1309566	1527487	1800794
70-74	216957	249798	288418	312851	381875	448891	565037	667473	840380	1078750	1266269
75+	230724	243905	289052	327017	365097	435659	525836	661709	812886	1030047	1329564
ALL AGES	24231626	27485146	31094508	34826121	39874932	42829669	46675362	50294759	53530831	56483973	59233510
FEMALE											
0-4	3751366	3920422	4297211	4557817	4718894	4787746	4769470	4661015	4428721	4325044	4333119
5-9	3224182	3677060	3856471	4241236	4511431	4682382	4758032	4746222	4642371	4414053	4311932
10-14	2927882	3201830	3653331	3837548	4224231	4496937	4670042	4747780	4737562	4635157	4407751
15-19	2701713	2906090	3181366	3635598	3820313	4208654	4483267	4658303	4737656	4728743	4627216
20-24	2389342	2673306	2879458	3156300	3611248	3798977	4189538	4466378	4643460	4724463	4715594
25-29	1945178	2358019	2642557	2850659	3129148	3595095	3776436	4169086	4447829	4626344	4708309
30-34	1484598	1915491	2326237	2611404	2821519	3101915	3559177	3753591	4147196	4427126	4606253
35-39	1196929	1457920	1884860	2293336	2578374	2781191	3076531	3531371	3727843	4127111	4401696
40-44	1036253	1170780	1429218	1851510	2256980	2547701	2756861	3040378	3497361	3695150	4087474
45-49	839483	1067410	1140765	1395643	1811836	2212713	2497747	2712850	2996107	3459172	3647502
50-54	707128	807601	971643	1102971	1352463	1759984	2154758	2437497	2652125	2933141	3380479
55-59	568789	669135	786677	925176	1053275	1295769	1691270	2076214	2354629	2565969	2841054
60-64	466703	523677	618675	711759	826159	989498	1217909	1595734	1766314	2233390	2438197
65-69	370838	410160	462918	549778	635757	774203	890218	1106434	1456324	1799172	2048697
70-74	225346	301632	335763	381664	456216	531416	652230	755410	945487	1250414	1548521
75+	249147	276271	350705	418713	489300	585779	700807	861110	1036211	1282852	1661465
ALL AGES	24064877	27276804	30799855	34521112	38334364	42140960	45941293	49319533	52413396	55212901	57816369
BOTH SEXES	48316503	54761950	61894363	69447233	77209296	84706229	92516625	99614292	105966227	111696874	117099879

Table 1.7
POPULATION, LABOR FORCE AND EMPLOYMENT, 1986-92

	Estimate				Targets			Annual average 1987-92
	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	
POPULATION								
Total population level (million persons) ^a	56.0	57.4	58.7	60.1	61.5	62.9	64.3	
Population growth rate (%)	2.44	2.41	2.38	2.34	2.30	2.26	2.21	2.32
Urban population (share to total population)	40.5	41.0	41.6	42.1	42.7	43.2	43.8	42.7 ^b
Rural population (share to total population)	59.5	59.0	58.4	57.9	57.3	56.8	56.2	53.3
Population density (persons/sq. km.)	186.7	191.2	195.7	200.3	204.9	209.6	214.2	202.7
Total fertility rate	4.2	4.1	4.0	3.9	3.9	3.8	3.7	
Family planning prevalence rate	36.6	38.1	39.6	41.1	42.6	44.1	45.6	
Age-dependency ratio	76.8	75.8	74.8	73.8	72.7	71.6	70.4	
Economic dependency ratio ^c	77.2	74.2	70.7	67.7	65.0	63.2	61.7	
LABOR AND EMPLOYMENT								
Labor force participation rate (%)	64.0	64.2	64.4	64.6	64.8	64.9	65.0	64.6
By sex:								
Male	82.5	82.7	82.8	82.9	83.0	83.1	83.2	82.9
Female	45.8	46.0	46.3	46.6	46.8	46.9	47.0	46.6
By age group:								
15-19 years old	41.4	41.5	41.6	41.7	41.7	41.7	41.7	41.6
20-24 years old	62.4	62.6	62.8	63.0	63.2	63.3	63.3	63.0
25-34 years old	71.4	71.5	71.6	71.8	72.0	72.2	72.4	71.9
35-44 years old	76.7	76.8	76.8	76.9	77.0	77.0	76.9	76.9
45-54 years old	76.1	76.2	76.4	76.5	76.7	76.7	76.8	76.6
55-64 years old	67.4	67.4	67.6	67.8	67.9	67.9	68.0	67.8
65 years old and over	41.8	41.8	41.8	41.8	41.8	41.7	41.6	41.8

表 2 - 2 - 20 粗出生率と粗死亡率予測

Table 8.4

ESTIMATED LEVELS OF CRUDE BIRTH RATE, CRUDE DEATH RATE AND ANNUAL GROWTH RATE IN THE PHILIPPINES ACCORDING TO SIX SERIES OF PROJECTIONS, 1980-2030

<u>YEAR</u>	<u>SERIES 1</u>	<u>SERIES 2</u>	<u>SERIES 3</u>	<u>SERIES 4</u>	<u>SERIES 5</u>	<u>SERIES 6</u>
<u>Crude Birth Rate</u>						
1980	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
1985	30.8	32.2	32.9	30.8	32.2	32.9
1990	27.0	29.8	31.1	27.0	29.7	31.0
1995	22.8	26.9	28.8	22.8	26.8	28.8
2000	18.4	23.9	26.5	18.3	23.8	26.3
2005	18.6	20.8	24.0	18.8	20.6	23.8
2010	18.3	17.6	21.6	18.2	17.5	21.5
2015	17.5	17.5	19.3	17.4	17.3	18.7
2020	16.2	17.0	16.9	16.1	16.8	16.8
2025	14.9	16.1	16.4	14.6	15.8	16.3
2030	13.9	15.0	15.7	13.9	15.0	15.6
<u>Crude Death Rate</u>						
1980	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7
1985	7.8	7.9	8.0	7.6	7.6	7.6
1990	7.1	7.2	7.3	6.6	6.9	6.7
1995	6.6	6.7	6.7	5.9	5.9	5.9
2000	6.2	6.2	6.2	5.4	5.3	5.3
2005	6.2	6.0	5.9	5.5	5.2	5.1
2010	6.3	5.9	5.8	5.6	5.3	5.1
2015	6.5	6.1	5.8	6.0	5.6	5.3
2020	6.8	6.4	6.0	6.5	6.1	5.7
2025	7.4	6.9	6.4	7.3	6.7	6.3
2030	8.2	7.5	7.0	8.1	7.5	6.9
<u>Growth Rate</u>						
1980	2.51	2.52	2.53	2.51	2.52	2.53
1985	2.29	2.44	2.52	2.32	2.47	2.55
1990	1.97	2.26	2.40	2.02	2.31	2.45
1995	1.60	2.02	2.22	1.66	2.08	2.28
2000	1.23	1.76	2.02	1.32	1.84	2.11
2005	1.25	1.46	1.80	1.31	1.53	1.87
2010	1.21	1.18	1.58	1.26	1.24	1.64
2015	1.10	1.14	1.34	1.13	1.18	1.38
2020	.98	1.06	1.10	.96	1.08	1.12
2025	.74	.92	1.00	.75	.93	1.01
2030	.60	.78	.90	.61	.78	.90

注： 出生と死亡のトレンドの組み合わせ方により series 1-6 が設定されている。

3. 人口家族計画分野の政策及び実施体制

3-1. 人口家族計画分野の政策・計画の推移と課題

(1) マルコス政権時代の人口家族政策と計画

1960年代後半の人口問題に対する国際的な関心の高まりを背景に、フィリピンにおいても1969年に、大統領命令、第171号によって人口問題に関する最初の委員会、すなわちフィリピンの人口状態をあらゆる面から研究し、政策と計画を勧告する人口委員会（Commission on Population-POP COM）が設立された。この委員会は大統領府に所属し、各省の代表など22名の委員より構成され、人口問題を市広い基盤の上で見当できるよう配慮されていた。そしてこの委員会はフィリピン全国にわたる高い人口増加率を低下させるべきだと結論し、家族計画プログラムの導入を勧告した。

1970年に、この勧告に答えて、大統領命令第233号によって新しく人口委員会が創設され人口増加率の低下を目的とした国家人口プログラムが開始された。この委員会（POP COM）は主としてこのプログラムの調整と指導の責任を課せられていた。

1971年8月には、人口法として知られている共和国法（RA）第6365号が制定され、次のような国家人口政策（National Population Program）が確立された。

フィリピン議会は、国土開発を促進し、個々のフィリピン人が享受する経済発展の成果のシェアを増大させ、高い人口増加率がもたらす社会・経済的に危機をはらんだ挑戦に対処することを目的として、個人の宗教的信条を尊重する国家家族計画プログラムに着手すべきであることをここに宣言する。フィリピン議会はさらに、国の人口政策とプログラムは次のような要素を含むべきであると宣言する。すなわち、量的目標の設定と採用、人口増加の家庭及び国民福祉に与える影響についての広汎な理解の普及、家族計画を広汎な教育プログラムの一部とすること、子供の数を制限したり出産間隔をあげたいと思う夫婦に安全で効果的な手段を授けること、死亡率と罹病率を更に低下させること、労働力参加、国内移動、人口の地域分布を指導・調整する政策とプログラムの採用、人口問題に関与している国際機関と民間機関との連絡を確立し、定期的に行なうことである。

さらに、1972年における大統領令、第79号により先の共和国法第6365号が改訂され、この法律の中で特にPOP COMについては次のようにその目的と機能が再設定されている。

- ・人口問題は、経済社会の発展と関連するため、国家の人口政策と合致し、かつこれを推進させるような、統合的かつ包括的な長期計画、並びに勧告を作成すること。
- ・人口統計と人口の将来予測とを総合的に研究して、人口の特定した目標ならびに量的目標に影響を与える政策を提言すること。
- ・無制限な人口増加が家庭生活や国民の福祉に与える悪影響を広範囲に理解させるプログラムを立案し、実施する。

表3-1-1 フィリピン人口家族計画関連事項の推移

年	関 連 事 項	国 家 計 画	JICAプロジェクト
1960	60 センサス実施		
1965	64 フィリピン大学人口問題研究所 (UPPI)創設		
1970	69 POPCOM設置 (大統領令第 170号)		
1970	70 センサス実施	70 National Population Program	
1970	71 POPCOM機能拡大		
1973	73 憲法公布 (73 National De Demographic Survly)	72 Four Year Development Plan (1972-75)	
1975	75 センサス実施 (75 Family Income and Executive Survey)		74 第1期 (機材供与)
1976	76 アウトリーチプロジェクト介開始(~88) (78 Philippine Fertility Survey)	78 Five Year Development Plan (1978-82)	79 第2期 (機材供与)
1980	80 センサス実施 (80 National Demographic Survey)	81 Population Program, Medium Term Plan (1981-85)	81 第3期 (プロ技協)
1985	(マルコス政権終了)	85 Five Year Development Plan (1983-87)	86 第4期 (プロ技協)
1987.2.11	87.2.11 新憲法公布 (アキノ政権)	87 Medium Term Development Plan (1987-92)	
1987.5	87.5 新人口政策公布 (法律第 6,365号)		
1988	88 アウトリーチプロジェクト終了	88	
1990		89 Population Program Medium Term Plan (1989-93) Medium Term Public Investment Program (1988-92)	

注： () 内の英文は同年に実施された調査名を示す。

※なお、1970年から87年までのフィリピンの人口家族政策の動向については、さらに以下を参照のこと。

- ・国際協力事業団医療協力部「フィリピン国家族計画基礎調査団報告書」昭和57年12月、23～62ページ。
- ・Carmelo V. Sison et al, Law and Population , (蒐集資料No.11のP.199～216)
- ・蒐集資料No.9のP.70～P.81

(2) アキノ政権下の人口家族政策と計画

アキノ政権下における人口家族計画分野での政策、計画はまず次のように憲法及び国家計画によってその方向性が定められた。

- ・1987年の新憲法の規定

It provides that: "The State shall promote a just and dynamic social order that will ensure the prosperity and independence of the nation and free the people from poverty through policies that provide adequate social services, promote full employment, a rising standard of living, and an improved quality of life for all.

- ・中期国家開発計画(Medium Term Philippine Development Plan, 1987 - 1992) - この中では経済成長と人口との関連が次のように明確に述べられている。

The Plan recognizes the importance of the relationship between population and development. The development goals are: alleviation of poverty; generation of employment; promotion of social justice and equality; and, attainment of sustainable economic growth. It states that the development of these goals can only be realized if economic growth is sustained along with the reduction of population growth.

- ・大統領命令第123号 - POPCOMは社会福祉事業省に属し、計画と調整の権限を継続して待つことになると規定。

It stipulates that "POPCOM shall continue as the population planning and coordination agency."

上に述べた方向性に従い、1987年4月に新人口政策(New policy Statement)が発表された。その内容は以下のとおりである。

“人口政策の目的は、公正で人道的な社会における人間生活の質の向上にある”と規定している。

そして、人口政策の基本的原則については、次のとおり。

1. 出生率の減少に関してだけでなく、全体的な家庭向上に関するオリエンテーション。
2. 自分たちのモラル、宗教的信念に従って自発的に避妊方法を選択し家庭サイズを決定する

夫婦の権利の尊重。

3. 家庭内での結束や責任ある親子関係の促進。
4. 墮胎の禁止。
5. 各宗教間および各地域間の社会、文化バリエーションの容認。
6. 地域社会に根ざしたアプローチを通じてセルフリアランスの促進。
7. 各政府機関における開発努力の調整と統合。
8. 民間機関とのパートナーシップの強化。
9. 各機関による人口プログラムへの参加・協議アプローチの最大限活用。

この原則を基本にしたプログラム方針は、次のとおり。

1. 保健、栄養、家族計画サービスの普及のための統合アプローチ。

(母子保健の重要な要素としての価値形成、責任ある親子関係、家族計画の統合。)

2. 責任ある親子関係および家族計画サービスと並んで、他の開発プログラムや個人の信念、文化的価値を考慮し、促進する情報、教育、動機づけの指導。
3. 医学的に認められ、かつ、合法的な家族計画サービスに関する情報の全面的な供給。
4. 家族計画サービスの利用および使用にかかる保証。
5. 女性の地位と役割を向上させるプログラムの支援。
6. 人口分布の不均衡を減少させる政策や方針の擁護。

そして、引き続き、この新人口政策を実施するための中期人口計画 (Philippine Population Program Medium Term Plan 1989 - 1993) が、1988年6月9日にタベラ社会福祉事業大臣 (POPCOM理事長) によって発表された。

その具体的目標は以下の通りである。

※人口増加率を1986年の2.44% (総人口5600万人) から1993年には2.16% (総人口6570万人) に減ずる。

※家族計画普及率を1986年の43.8%から1993年には53.3%に高める。

※合計特殊出生率を1986年の4.5%から1993年には3.97%に減ずる。

これらを達成するためのプログラムは次の2つのものより成っており、それぞれのプログラムはStrategyによって成り立っている。(プログラムAはStrategy 1~5、BはStrategy 1~3(後述))。

A. Family Planning and Responsible Parenthood Program

To provide individuals and couples with the quality and levels of services that they need to enable them to effectively practice responsible parenthood in the light of their own conscience, values, and informed free choice within accepted norms and methods for the management of the variables that affect family size, fertility, and material and child health.

B. Integrated Population and Development Program

To promote and support the integration of population concerns including migration variables and family welfare considerations into the development management process so that these would be taken into account in the formulation of policies and in the design, planning, execution and evaluation of programs undertaken, supported or encouraged by government.

This program aims to support the national government in attaining consistency of policies and program relating to population, resources, environment and development through research, advocacy of policies and mobilization of sectoral efforts.

3-2. 人口家族計画分野の実施体制と関連諸機関

(1) 人口委員会 (POPCOM) の設置と役割の変化

POPCOMの設置に関しては既に3-1で述べた。POPCOMの役割の変化については2つの転機があったと言える。当初のPOPCOMの役割については次の4点であったという事ができる。

- ・長期的な人口政策の提案、実施
- ・人口政策の広報
- ・FP/MCH (母子保健/家族計画) 活動の奨励、実施
- ・関連機関との連絡調整

このようなPOPCOMの機能に最初の転機があったのは、1976年であった。この年にアウトリーチ・プロジェクトが開始され、これによりPOPCOMは人口問題の総括機関、政策立案、プロジェクト評価から、実施機能が付与されることになった。

アウトリーチ・プロジェクトは地方政府と協力して、地域社会をベースとして、情報・サービス供給システムを設置するというものであり、村内避妊具供給所の所員のFP/MCH活動への積極的な参加が特色であり、USAIDの援助によりスタートした。

POPCOMはアウトリーチ・プロジェクトの中で、具体的に次のような活動を行なっている。

人口委員会は人口プログラムに関し、幼児・青少年・婚前グループ・再生産年齢夫婦・プログラム指導者および有力者を対象として5つのプログラム(1.人口教育プログラム 2.青年男女の性教育プログラム 3.家族計画プログラム 4.人材養成プログラム 5.広報普及プログラム)を策定・実施してきた。

なかでも家族計画プログラムにもっとも重点をおき、ハイ・シナリオ・ターゲットの推進を図ってきた。

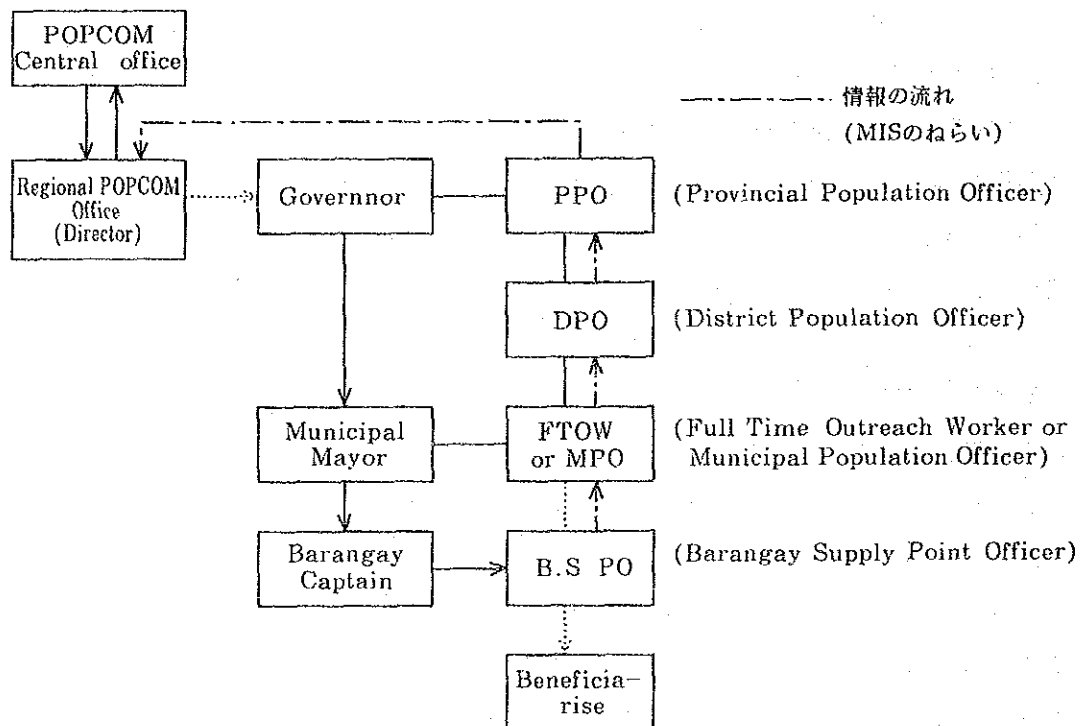
(ハイ・シナリオ・ターゲットとは人口増加率を1983年の2.54%から、1993年には1.92%にす

るため、1000人の再生産年令夫婦に対して105人の新規の家族計画受容者を確保する。その105人の内訳は19人・不妊手術、86人・ピル、IUD、デポプロベラ、リズム法の利用者である。）

このハイシナリオターゲットを推進するため、全国3,487箇所の政府機関・民間団体のクリニックセンター、51,169人の村落避妊具供給員（BSPOボランティア）、2,289人のアウトリーチワーカー（家族計画普及員-FTOW）を通じて家族計画サービスが実施されてきた。（1986年統計による）

POPCOMとこれらBSPO、FTOWなどの関連及びその機能を示したのが図3-1-1である。

図 3-1-1 アウトリーチ・プロジェクトとPOPCOM



出所: POPCOM 及び山下専門員よりのヒアリング

1976年に始まったこのプロジェクトの当初の活動目標は地方自治体による行政監督下・人口委員会による技術監督下のもと、地方自治体における福祉を中心とする開発事業と統合したなかで、家族計画の普及に当たるといったものであったが、現状は避妊方法普及を中心にした家族計画を推進してきた。

従来、USAIDはアウトリーチワーカーの人的費についても援助をしてきたが、1987年以降プロジェクトの自立を図るうえからも、地方自治体がアウトリーチワーカーの人的費を全額負担していくことになっていた。その結果、全国の地方自治体の65%（1987年）がアウトリーチワーカーの継続を決定し、35%の地方自治体はアウトリーチワーカーの廃止を決めた。

なお、このプロジェクトに対するUSAIDからの援助は1988年に終了予定であるため、人口

委員会・USAID両機関とも今後の対応を検討している。

とくにこのアウトリーチプロジェクトが1976年に開始されて以降、人口委員会は人口プログラムに参加している実施機関間における調整・統合の“総括的機関”としての機能と併せて、実施機能も持ち始めたにもかかわらず、今回新しく策定された人口政策によれば、人口委員会は調整機関であることが明記されており、人口プログラムの実施については、各政府機関や民間機関（NGO）がその責務を担うことになっている。

新人口政策、発効後のPOPCOMの役割、機構等は次のとおりである。

人口委員会の役割

新人口政策の発効後、人口委員会の機能は調整・モニタリング・政策の策定であり、その業務内容は次のとおり。（図3-1-2参照——以下の業務を図式化したもの）

調整業務：

- * 人口プログラムにかかると目標・優先度・プロジェクトの手掛かりに関する計画フレームワークの開発。
- * プログラム実施機関の計画をマクロ計画に変えるためのレビューと統合。
- * プログラム資金の調達と分配
- * 運営基準とガイドラインの設定
- * データ収集と情報普及。
- * 社会・福祉サービス機関との人口プログラムの関係と統合。
- * 技術的支援の提供。

モニタリング業務：

- * プロジェクト・レビューと評価。
- * フィールド訪問。
- * 人口データとレポートの分析。
- * 実施機関との協議。

政策策定業務：

- * 国家社会・経済開発目標と合致した政策の採用に関する提言と擁護。

人口委員会内における機構改革

新人口政策の決定を受けて、人口委員会における機構改革があり、1988年1月 各スタッフの人事異動についても実施された。（図3-1-3）

人口委員会事務局長の下に新設の事務局次長（テクニカル・ディビジョン担当、サポート・ディビジョン担当の2名）を配置した。

テクニカル・ディビジョン

- * 企画部 旧称：Planning Div.
(Planning and monitoring Div.)

* 情報管理部 旧称 : I E C Div.

(Information Management and reserch Div.)

* 標準認定部 旧称 : training Div. & Clinic Serveces Div.

(Standard and Accreditation Div.)

サポート・ディビジョン

* 機材調達部 旧称 : Logistics Div.

(Logistics Div.)

* 経理部 旧称 : Finance Div.

(Fiscal Serveces Div.)

* 管理部 旧称 : Administrative Div.

(Administrative Div.)

図 3-1-2 POPCOMの業務に関連するフロー

ORGANIZATION AND FLOW OF PROGRAM SERVICES

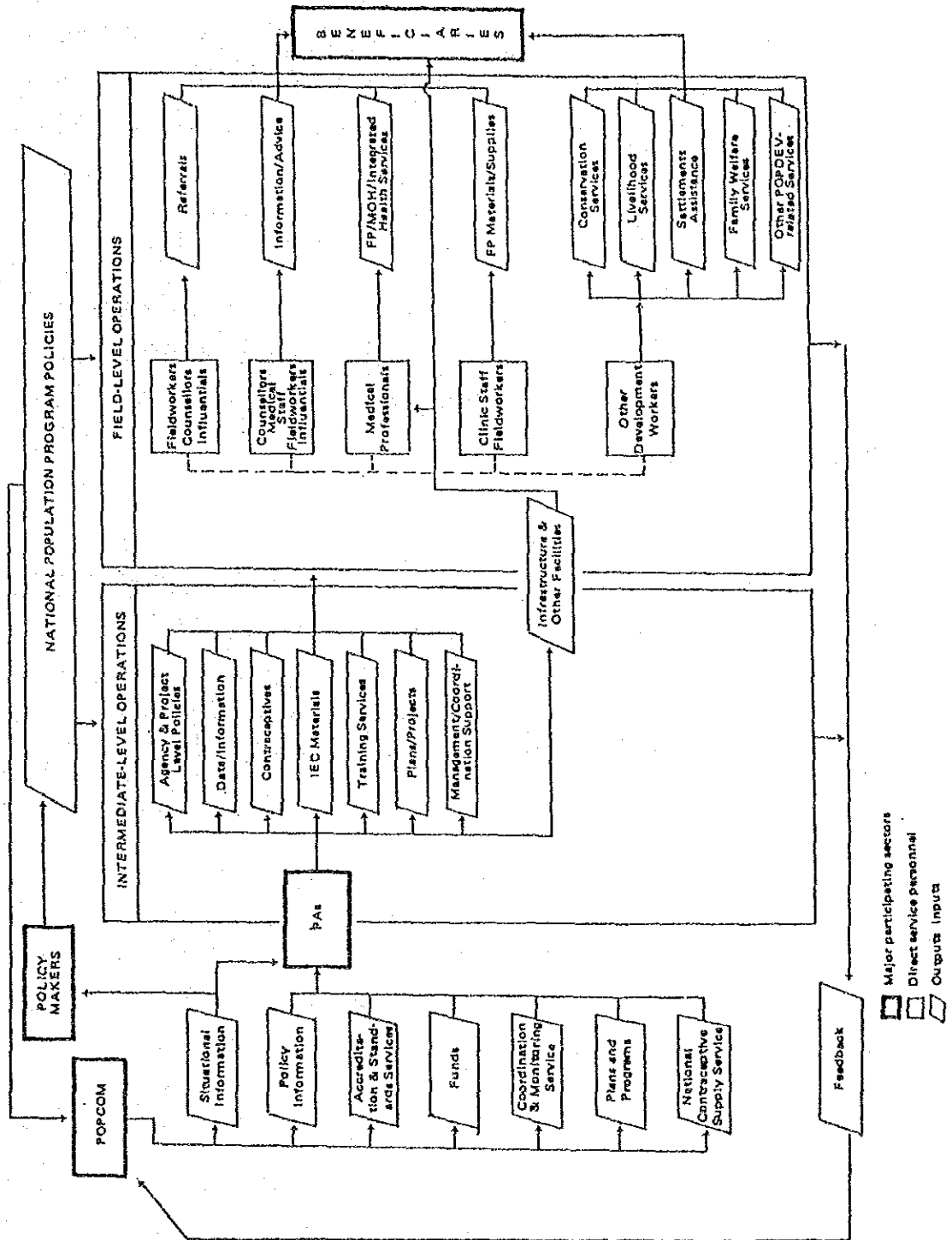
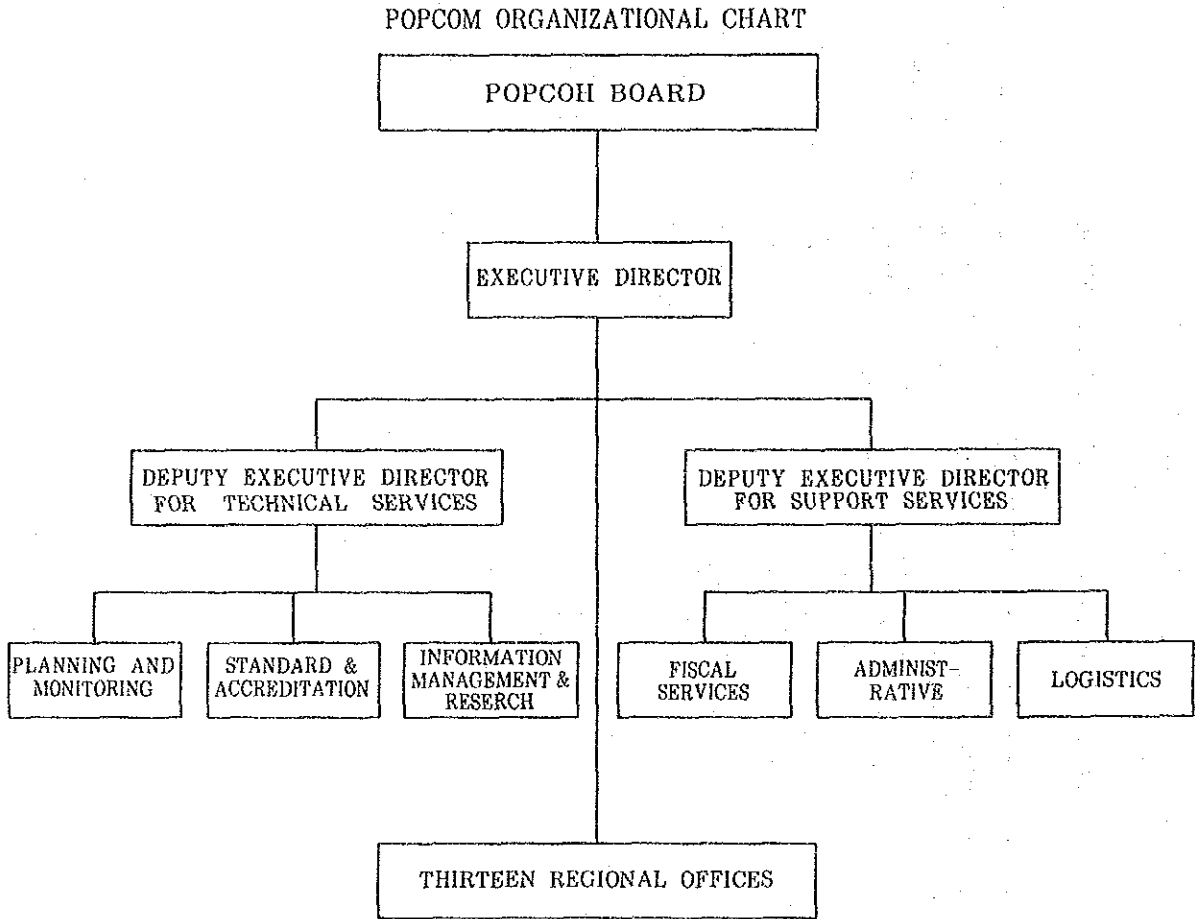


圖 3-1-3 POPCOM組織圖



人口委員会の動向（1987年～1988年9月現在まで）

1987年2月9日

タベラ大臣と人口委員会幹部スタッフ（各部部长と各地域事務所所長）との会議。会議内容は以下のとおり。

1. 人口委員会は、今後社会福祉事業省の管轄下になる。
2. 従来推進していた避妊方法普及政策から家族福祉政策に転換する。
3. 新憲法前文には、中絶禁止が打ち出されており、プロライフと呼ぶ人命尊重が憲法の主要な一つとなっている。
4. 人口政策は、保健、栄養、教育、住宅、人材開発プログラムと統合して実施する予定。

3月16日

1月30日付大統領命令第123号『社会福祉事業省の機構改革』発令。

1. Ministry of Social Services and Developmentから Ministry of Social Welfare and Developmentに名称変更。
2. 人口委員会 (Population Commission) は社会福祉事業省の付属機関になり、人口計画、調整機関として存続。

（栄養評議会についても、農業食糧省から社会福祉事業省の付属機関になった。）

4月13日

大統領命令第160号の発令、人口委員会理事会メンバーとして政府機関から11名、NGO（民間団体）から3名を選出。

新たに決まった理事会メンバーは、次のとおり。

理事長：社会福祉事業大臣

理事会メンバー：保健大臣

同上：国家経済開発庁長官

同上：地方自治大臣

同上：労働雇用大臣

同上：農業食糧大臣（新規）

同上：農地改革大臣（新規）

同上：貿易工業大臣（新規）

同上：公共事業大臣（新規）

同上：教育文化体育大臣

同上：フィリピン大学人口研究所所長

同上：フィリピン家族計画協会（NGO）（新規）

同上：フィリピン女性の役割にかかる国家委員会（NGO）（新規）

同上：人口センター財団（NGO）

4月29日

人口委員会理事会開催、人口政策の決定。

7月24日

UNFPA（国連人口活動基金）と人口委員会の共催による“世界人口50億人・シンポジウム”の開催。フィリピン人口問題関係者が一堂に会する。

9月9日

内閣総辞職。（タベラ社会福祉事業大臣は留任される。）

9月29日

USAIDと人口委員会との間で、保留になっていた人口プロジェクトIIIの実施計画に署名される。

1988年

6月9日

人口委員会理事長タベラ社会福祉事業大臣によるフィリピン人口プログラム中期計画（1989～1993）の発表。

9月2日

人口・開発にかかる国家議員会議の開催。（国連人口活動基金援助）

9月5日～10日

POPCOM/JICA人口家族計画国際セミナーの開催。

(2) 関連諸機関の機能と役割

国家人口計画にはPOPCOMの調整のもと多くの政府機関及び民間団体が参加している。主な実施機関は次のとおりである。

※政府機関：保健省・国家経済開発省・社会開発事業省・労働雇用省・地方自治省・教育文化スポーツ省・農地改革省・公共事業省・貿易工業省・天然資源省・農業食糧省・フィリピン大学人口研究所

※民間団体：フィリピン家族計画協会¹⁾・母子保健協会²⁾・人口センター財団³⁾・ナチュラルファミリープランニング連合体・女性の役割にかかる国家委員会。

1) Family Planning Organization of the Philippines-FPOP

2) Institute of Maternal and Child Health-IMCH

3) Population Center Foundation.-PCF

これら民間団体（NGO）はその活動の歴史も古く、保健省（DOH）でもできない手足をもっており、重要な役割をこの分野において果している。NGOの役割についてのより詳細な分析は以下の論文を参照のこと。

Corazon M. Raymundo, An Assessment of the Institutional Capability of Non-Governmental Organizations (NGO) in Population, July 1988, 33p.

また人口家族分野での活動はもともと purely clinic-based approach としておこなわれ、それがアウトリーチ・プロジェクトのスタートにより、community based approach に重点が置かれ、それに伴い POPCOM の機能が変化したことは既に述べたが、これが最近になってまた UASID のアウトリーチ・プロジェクト終了に伴ない POPCOM は活動の手足を失うこととなった。その場合手足をもつのは保健省 (DOH) であり、その末端におけるボランティアの数は15万人といわれ圧倒的な数をもっている。その関係を図示すれば図3-1-4 のようである。

人口家族計画分野における諸外国による協力は以下の分野で行なわれている。(JICAを除く)

1. United States Agency for International Development
(USATD)

is the largest source of international assistance and presently funding Population Planning III Project which consist of projects and activities on service delivery, rural outreach, IEC, training, research, fellowship and purchase of contraceptives and other commodities.

2. World Bank/International Development Association
(WB/IDA)

has granted the Philippines two population loans, which supported activities such as construction of POPCOM's and OOH's facilities, procurement of needed vehicles, equipment and furnitures, development and production of IEC materials, trainings, research and upgrading of MIS.

3. United Nations Population Fund (UNFPA)

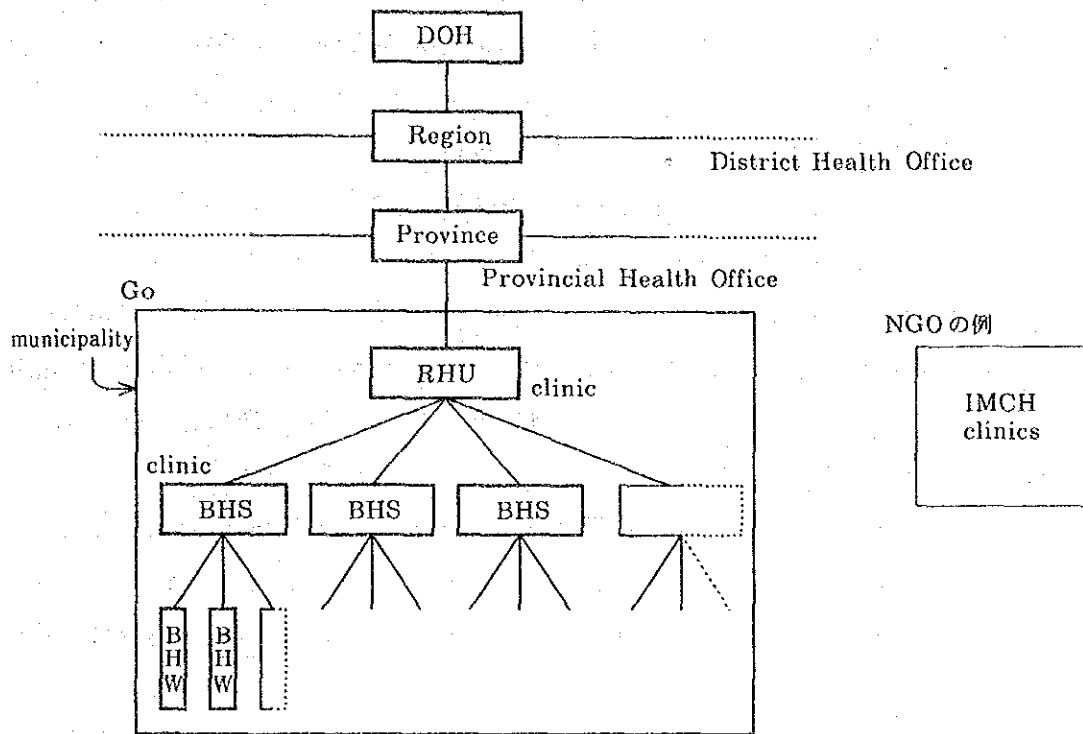
has been providing financial support for projects in the following areas: strengthening the vital registration system; population and development planning and research; expansion of comprehensive MCH/FP services; exploration of new contraceptive technology; managment training for population staff; IEC and others.

4 ASEAN Population Programme, Phase III

supports sub-regional collaborative projects among ASEAN countries in the areas of HRD, research and policy studies and IEC.

5 Other sources of funding on a per project agreement basis include Population Council for research and training. The International Program Assistance for Voluntary Sterilization for VSS, Regional Training Services for Asia for training and the Family Health International for clinical trials and training.

図 3-1-4 保健省によるアプローチのフロー



RHU : Rural Health Unit

BHS : Barahgay Health Station

BHW : Barangay Health Worker (volunteer)

BHWはまた、BSPO、BNSを兼ねることが多い。BHWの数は約15万人といわれる。従って、BHW-Clinicの流れが、情報をカバーする範囲が広い。

またBHW、BSPO、(BNS)などvolunteersは、3-5 km beyond the clinicsの地域をcoverする。

出所：POPCOM及び山下専門家よりのヒアリング

4. 現行の人口家族計画プロジェクト一覧

中期国家開発計画(1987-92)においては、家族計画のための主要指標ならびに主要家族計画プログラムが示されている。(表4-1-1及び4-1-2)。主要家族計画プログラムは従来と同じ、次の5つのプログラムより成っている。

- (1) 青年男女の性教育プログラム(Adolescent Fertility Program)
- (2) 人口教育プログラム(Population Education Program)
- (3) 家族計画プログラム(Family Planning Program)
- (4) 人材養成プログラム(Manpower Development Program)
- (5) 広報・普及プログラム(Population Information Management and Dissemination Program)

そして、これらのプログラムを実施するために必要な費用はフィリピン政府分10億7,150万ペソ、外国援助分14億6,840万ペソとなっている。

一方、公共投資計画(1988-92)によれば、同期間におけるフィリピンの公共投資総額は3,091億ドルで、うち1,833億ドルを内貨でまかなうとしている(表4-1-3)。このうち、人口部門における投資額は12億ペソで総投資額の0.397を占めている。(表4-1-4、外貨分については表中に示されている。)

これらの計画を受けて中期人口計画(1988-93)が策定されている。ここに取り入れられているプログラムは既述のように8つのstrategyから成り立っており、(表4-1-5)、それぞれのstrategyは、より具体的なプロジェクトより成っている。strategy1と2の例が表4-1-6に示されている。

このような人口家族計画に対して援助機関(UNFPA、世銀などの国際機関、USAIDなどの先進諸国)がどのように対応するか、不明である。

以下に、1987年における各援助機関の援助内容を参考までに示しておく。

各援助機関の援助内容

各援助機関の援助内容は以下のとおり。(1987年の人口プログラム支出総額189.5Mペソ。各援助機関の援助総額104.7Mペソ。ただし、JICAの援助は資金援助ではないので含まれていない。JICA援助額16.7Mペソ、1ペソ=6.5円にて算出)

* UNFPA (国連人口活動基金)

援助額9.6Mペソ(1987年)

- 1) NGO(Non-Government Organization)プロジェクト
- 2) PPACU(Population Policy Analysis and Coordinating Unit)プロジェクト
- 3) PDPR(Population Research)プロジェクト
- 4) ASEAN Population Program

* World Bank (世銀)

援助額8.9Mペソ (1987年)

- 1) 人口委員会 (本部、地域事務所) への機材・備品供給
- 2) 人口委員会地域事務所の改築プログラム
- 3) I E C教材の制作・配布
- 4) I E Cスタッフの技術研修
- 5) 医療従事者および家族計画指導員の技術研修プログラム

* U S A I D (米国国際開発庁)

援助額86.2Mペソ (1987年)

- 1) Human Resources Development (家族計画指導員の技術指導)
- 2) Clinic Support (医療・生体医学の指導)
- 3) I E C (広報教育)
- 4) Logistics Operations (備品・避妊具の供給)
- 5) Demographic Measurement Activities (1990年予定の国勢調査の準備)
- 6) Operations and Policy Research (各活動のケーススタディ・プロセス評価・パイロットテスト)
- 7) Management Information System (データバンク・管理情報システムの強化)
- 8) Special Projects (テレフォンカウンセリング)
- 9) Natural Family Planning (N F P・自然法による避妊の紹介)
- 10) Private Sector Initiatives (N G O活動の支援)

Table 7.1
MAJOR HEALTH, NUTRITION AND FAMILY PLANNING PROGRAM INDICATORS, 1986-92

Program indicators	Estimates						Targets						Annual ave. growth rate
	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992						
No. of Barangay Nutrition Scholars	10,026	11,029	12,131	13,345	14,679	16,147	17,762	10.0					
III. FAMILY PLANNING													
<i>Key Program Indicators</i>													
Family planning prevalence rate	36.6	38.1	39.6	41.1	42.6	44.1	45.6	-					
Family planning effectiveness	82.4	83.2	84.0	84.7	85.3	85.9	86.5	-					
<i>Support Indicators</i>													
No. of family planning clinics/service outlets	4,361	5,257	5,923	6,178	6,337	6,337	6,337	3.9					
No. of program workers in place													
Medical/paramedical workers	13,101	15,771	17,769	18,534	19,011	19,011	19,011	3.9					
Community volunteer workers	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000	-					
Program support personnel	3,212	2,801	2,804	2,804	2,804	2,804	2,804	-					
No. of trained program workers													
Medical/paramedical workers	1,091	1,805	2,307	1,038	1,038	1,038	1,038	-5.4					
Community/volunteer workers	3,160	720	720	720	720	720	720	-					
Program support personnel	1,011	1,790	1,859	2,450	2,955	2,950	2,950	11.2					

Sources: MOH, PMCC, NNC, and POPCOM.

Annex 7.1
MAJOR IMPLEMENTING PROGRAMS AND PROJECTS, 1987-92

ANNEX 7.1 (Continued)

Program/Project Title	Objectives/Targets	Coverage	Clientela	Cost estimates (P=)		Lead Agencies
				GOP	Foreign	
4. Other FNP Support Services	To ensure full implementation of the nutrition service delivery and advocacy program.	Nationwide	Program and policy implementors	506.42	242.8	NNC and member agencies
C. FAMILY PLANNING						
1. Adolescent Fertility Program	To address the fertility-related needs and problems of the Filipino adolescent with the end in view of helping achieve goals of reducing the incidence of early marriage and teenage pregnancies through counselling, IEC, and research activities.	Nationwide	Adolescents	15.7	69.0	POPCOM, public and private schools, NGOs
2. Population Education Program	To inculcate positive social and cultural values supportive of the population program, i.e., small family size and family welfare, responsible parenthood and delayed marriage.	Nationwide	In-school population	8.8	38.7	POPCOM, MECS, MSSD, NGOs
3. Family Planning Program	To ensure availability, accessibility and quality of family planning and FP-related services to all those desirous of limiting their family size.	Nationwide	Married Couples of Reproductive Age (MCRAs)	1013.3	1212.3	POPCOM, MOH, IMCH, FPOP, NGOs
4. Manpower Development Program	To upgrade or enhance the skills of program workers.	Nationwide	Program Professionals	8.0	35.3	POPCOM
5. Population Information Management and Dissemination Program	To promote awareness, acceptance and demand for program services through an extensive and systematic information system.	Nationwide	Adolescents, MCRAs, policy makers, planners and program professionals	25.7	113.1	POPCOM, NEDA

Sources: MOH, PMCC, NNC, and POPCOM

表 4 - 1 - 3 公共投資計画の概要 (1988-92)

(単位 : billion)

	Year	Foreign Exchange (US\$B)	Local Cost (PB)	Total (PB)	% of GNP
Actual	1987	0.232	12.650	17.642	2.49
	1988	0.735	21.253	37.057	4.60
	1989	1.017	26.558	48.296	5.28
	1990	1.173	31.405	58.671	5.62
	1991	1.078	41.486	67.670	5.66
	1992	1.137	50.931	79.803	5.83
1988-1992 TOTAL		5.140	170.632	291.497	5.47 (ave.)
1987-1992 REVISÉD TOTAL		5.372	183.283	309.139	5.12 (ave.)

表 4 - 1 - 4 公共投資計画 - 人口部門 - (1988-92)

Public Investment Program
(In Thousand Current Prices) ver. 2A

SECTOR : Social Infrastructure and Other Public Works
SUB-SECTOR : Population/Health/Nutrition

page 45

		1988	1989	1990	1991	1992	Total 1988-1992	Later Years

ONGOING/NEW								

SEKOKO AGUSAN IRRIGATION PROJECT	TP	602	-	-	-	-	602	-
	P	-	-	-	-	-	-	-
	\$	28	-	-	-	-	28	-
BOHOL INTEGRATED AREA DEVELOPMENT	TP	3,623	6,086	11,050	-	-	20,759	-
	P	1,967	3,269	6,354	-	-	11,590	-
	\$	77	126	202	-	-	405	-
POPULATION PROJECT	TP	125,495	169,896	223,064	295,803	394,944	1,209,203	-
	P	125,495	169,896	223,064	295,803	394,944	1,209,203	-
	\$	-	-	-	-	-	-	-

Total, Ongoing/New	TP	129,720	175,982	234,114	295,803	394,944	1,230,564	-
	P	127,463	173,165	229,418	295,803	394,944	1,220,793	-
	\$	105	126	202	-	-	433	-

Chapter IV

IV. PROJECTS AND ACTIVITIES

The projects and activities described in this Chapter are in line with the strategies previously outlined. These projects and activities were identified through a series of consultative workshops conducted by the POPCOM secretariat and representatives of the participating agencies.

The projects and activities under the two thrusts are presented in accordance with the strategy to which they correspond. They may be located as follows:

A. The Family Planning and Responsible Parenthood Program

Strategy 1:

Improve the deployment and)
quality of family planning) Pages 31-34
service delivery system)

Strategy 2:

Integrate the delivery of)
nutrition, health care and) Pages 35-44
family planning services)

Strategy 3:

Strengthen and focus the)
IEC and motivational efforts) Pages 35-44
of the program to address)
priority requirements)

Strategy 4:

Provide critical support)
functions for strategies 1, 2) Pages 45-49
and 3, specifically Manpower)
Development and Logistics)

Strategy 5:

Develop a more relevant)
research program and infor-) Pages 50-54
mation bases)

B. The Integrated Population and Development Program

Strategy 1:

Integrate population)
concerns into various socio-) Pages 55-56
economic plans, programs)
and projects at all levels)

Strategy 2:

Strengthen the POPDEV)
information and research)
base for policy making,)
decision making and imple-)
mentation of developmental)
projects)

Strategy 3:

Strengthen the IEC, motiva-)
tional, human resource)
development, logistics and) Pages 61-72
other support for the pro-)
motion of the different)
POPDEV concerns)

表4-1-6 中期人口計画におけるプロジェクト (1989-93)

I. FAMILY PLANNING AND RESPONSIBLE PARENTHOOD PROGRAM

Strategy 1: Improve the deployment and quality of family planning service delivery system.

Strategy 2: Integrate the delivery of nutrition, health care and family planning services.

Projects/Activities	Beneficiaries	ANNUAL TARGETS/TIME FRAME				Background/Justification/Remarks
		1989	1990	1991	1992 1993	
MCRAs						
A. Provision of adequate clinic service coverage						
1. Expansion of service delivery outlets through	1989 - 9.2 M 1990 - 9.4 M 1991 - 9.7 M 1992 - 9.9 M 1993 - 10.1 M	171	131	136	144	155
a) Establishment of additional FP clinics						To increase accessibility and availability of integrated health, nutrition and FP services. Additional service outlets will be established yearly, with priority given to areas with low FP prevalence rates and the service-depressed areas. It is expected that by the end of 5 years, all service outlets will be providing integrated services on health, nutrition and family planning. It is likewise proposed that the deployment of the mobile teams cover all provinces. To date, eight regions do not have complete provincial coverage. These are Regions 1, 2, 4, 5, 6, 9, 10 and 12.
b) Integration of FP services into existing service centers		25	50	100	75	-
c) Integration of health services into existing FP clinics		all	all	all	all	all
d) Deployment of additional CITs/mobile teams		23	31	12	12	12
2. Maintenance of existing service outlets	--do--	3,656	3,787	3,923	4,067	4,222
DQH	2,144	2,191	2,251	2,318	2,392	2,475
Other GOs	225	225	225	225	225	225
DOLE	591	691	741	791	841	841
NGOs	525	599	639	659	681	681
	3,485					
3. Development of cost effective outreach schemes/models						Complementing the FP service delivery network is the program's motivational network. This consists of integrated volunteer workers such as the 51,000

〔 付 属 資 料 〕

[付属資料]

(1) 調査日程 (訪問先と面会者)

月日	訪 問 先	面 会 者
9月5日 (月)		
AM	-Population Commission (POPCOM)	-Mr. Anthony J. Arenas, Deputy Executive Director for Support Service -Ms. Eleanor Cura, Project Officer, IMRD -Ms. Linda Culala, Project Officer, SAAD
PM	-National Economic & Development Authority (NEDA)	-Ms. Janet Antonio, National Planning & Policy Staff
9月6日 (火)		
AM	-University of the Philippines Population Institute (UPPI)	-Dr. Corazon Raymundo, Director
PM	-Department of Social Welfare and Development (DSWD)	-Dr. Flora Eufenio, Undersecretary for Programs and Attached Agencies -Ms. Rosario B. de la Rosa, Director, Bureau of Family and Community Welfare (BFCW) -Ms. Concepcion P. Menalang, Director, Bureau of Child and Youth Welfare (BCYW) -Ms. Violeta A. Cruz, BCYW -Ms. Delia L. Martinez, BCYW
9月7日 (水)		
AM	-National Nutrition Council (NNC) -NEDA Publication Office	-Ms. Evelyn Reyes
PM	-Population Center Foundation (PCF)	-Ms. Marissa Reyes

9月8日(木)	AM	-Department of Health (DOH)	-Dr. Sinforosa C. Viray Family Planning Service
	PM	-Department of Education, Culture and Sports (DECS)	-Ms. Carolina Guerrero Executive Officer for Popula- tion Education Program (PEP) Bureau of Secondary Education
9月9日(金)	AM	-Family Planning Organiza- tion of the Philippines (FPOP)	-Mr. Orlando de la Cueva Officer in-Charge Programs and Operations Group
	PM	-Institute of Maternal and Child Health (IMCH)	-Dr. Fe del Mundo, President & Founder, Chief Coordinator of Projects -Dr. Flora B. Bayan Executive Director -Dr. Zenaida Amiscaray Director for Operations

[付属資料]

(2) 蒐集資料リスト (*印は未入手。資料の存在確認のみ)

1. Government of the Philippines, Medium-Term Philippine Development Plan 1987-1992, November 1986. 444p.
2. NEDA, Medium-Term Public Investment Program 1988-1992, June 1988. 100p.
3. Population Commission, The Philippine Population Program - Medium Term Plan 1989-1993, April 1988. 52p.
4. NEDA, Philippine Development Report 1987, June 1988. 416p.
5. NEDA, Philippine Statistical Yearbook 1987, August 1987. 717p.
6. NEDA, Philippine Population Projections 1980-2030. 434p.
7. Alejandro Herrin, Population and Development: Introductory Perspective, NEDA, August 1983. 72p.
8. Alejandro Herrin, Population and Development Research in the Philippines: A Survey, A report prepared for Philippine Institute for Development Studies, February 1981. 72p.
9. NEDA, An Introductory Guide to Population Development Planning. 1983, 96p.
10. UPPI, Philippine Population Data: An Update, 1985. 77p.
11. Mercedes B. Concepcion ed., Population of the Philippines Current Perspectives and Future Prospects, NEDA, 1983. 216p.
12. POPCOM-JICA Integrated FP/MCH Project, Performance Report 1986-87, Volume V. 20p.
13. NEDA, Social Development: The Philippine Approach, December 1980. 189p.
14. NEDA, Project Development Manual, September 1984. 520p.
15. NEDA, A Study on the Situation of Children in the Philippines: Summary, June 1979. 91p.
16. Government of the Philippines, Food and Nutrition Plan - Objectives and Strategies, December 1980. 49p.
17. NEDA, The Philippine Food Balance Sheet 1976, NEDA Food Balance Series Number 7, May 1979. 54p.
18. Romero Reyes, Official Development Assistance to the Philippines: A Study of Administrative Capacity and Performance, NEDA, 1985. 286p.
19. Vicente G. Ariete, Jr., Country Report on Family Planning (Philippines), August 1987. 43p. (xerox copy)
20. 碓賢治 『フィリピン人口・家族計画政策を取巻く状況と人口委員会の動向について』 1988年9月 11p-7
21. 「フィリピンの人口・家族計画政策に関する新聞切抜き」 March 18, 1988~ September 3, 1988 (碓賢治氏提供)

22. Rolando C. Maulion, Humanistic Family Planning: The Philippine Experience, JOICEP Document Series 12, October 1984. 83p.
23. POPCOM-JICA, Integrated Family Planning and Maternal/Child Health Project.
(折り畳み式パンフレット、POPCOM/JICA セミナーで準備されたもの)
24. POPCOM, Population Bulletin, No.7, January 1987.
(POPCOMが発行している Newsletter)
25. POPCOM, Population Facts. (POPCOM/JICA セミナーで準備されたもの)
26. DSWD (ex MSSD), Self Instructional Handbook for Day Care Workers, 1985. 173p.
27. NEDA, Population Dimension of Planning, I. Conference Highlights and Planning Guidelines, 1975. 93p.
28. ditto, II Population Projections for the Philippines by Province 1970-2000, 1975. 61p.
29. ditto, III Population Projections of Cities and Municipalities in the Philippines 1970-2000, 1975. 267p.
30. NEDA, Philippine Development.
(NEDA発行の月刊紙、January 1987~May 1988まで入手)
31. DOH, The Family Planning Program Manual, 1988.
32. DOH, Ten Leading Causes of Death, 1986. (1 sheet) (手書きの表)
33. DOH, Projected Health Indicators 1987-1993 (1 sheet)
34. DECS, Development and Evaluation on a Linear Integrated Curriculum in Population Education: An Abstract, July 1987. 4p.
(これは同上Research report for the elementary levelの要旨である)
35. Population Center Foundation (PCF)
紹介パンフレット一式 (以下のものを含む)
-PCF: Origin, Function and Services
-Agencies Served by the Foundation
-The Foundation's Officers
-Facilities, Services, Products
36. PCF, KINABUKASAN - 1986 Report of the Population Center Foundation. 87p.
37. PCF, Philippine Population in the Year 2000, (Options for policy and practice Vol. 6, No. 1 and 2, 1980). 27p.
(これは次項 38.の要旨である)
38. PREPF, Probing Our Futures: The Philippines 2000 A.D., July 1980. 222p.
39. PCF, Nutrition, Health and Education: Prospects for the Year 2000, (Options for policy and practice Vol. 6, No. 3 and 4, 1980). 23p.
40. PCF, SDI (Selective Dissemination of Information) 紙。以下を入手。
(1) Vol. I, No. 3, 1987 (Basic Demographic Information on the Philippines, its Regions and Provinces)
(2) Vol. I, No. 6, 1987 (The World's Five Billion: Implications for Filipino Society and Welfare)
(3) Vol. II, No. 2, 1988 (A Profile of the Poor)
(4) Vol. II, No. 5, 1988 (The Poor Tend to Have Large Families)

41. PCF, 以下の資料を入手
 - (1) Sex and the Young Filipino, 2p.
 - (2) Family Size and Family Welfare, 3p.
 - (3) Young Adult Fertility in the Philippines, 4p.
 - (4) Population/Family Planning for Muslim Communities Project, 11p.
42. Family Planning Organization of the Philippines (FPOP)

紹介資料一式 (以下のものを含む)

 - FPOP fact sheet: background, etc.
 - Declaration on policy on FPOP's role
 - FPOP organizational structure
 - Implementing guidelines
43. FPOP紹介パンフレット
44. FPOP, A Report on Its 17th Year of Service and Commitment to the Filipino Family, 1986. 39p.
45. The FPOP Bulletin, Vol. 18, No. 1, 1988. 12p.
46. National Nutrition Council, DSWD, 資料一式 (以下のものを含む)
 - Food and nutrition situation
 - Consequences of malnutrition
 - NNC, policy statement and strategies
 - Updated medium-term food and nutrition program 1988-92
 - Role of agencies in the PFNP (Philippine Food and Nutrition Program)
 - Role of local governments in the PFNP
 - Nutrition in development
 - List of nutritionally depressed municipalities and cities, 1987.
47. National Nutrition Council 紹介パンフレット
48. NNC, Facts about the Philippine Food and Nutrition Program (PFNP) (パンフレット)
49. DECS, Resource List of Core Messages in Population Education for Elementary and Secondary Levels, 34p. (xerox copy)
- *50. World Bank, Educational Research Capacity of the Philippines - Graduate School -
- *51. Regionalization of Population Education: Second Country Project 1980-87, Technical Report, 1987.
- *52. Resource Book in Population Education for Teacher Education, 1985.
- *53. NEDA, 1985 Family Income and Expenditure Survey - Integrated Survey of Households Bulletin Series 56 -
54. UPPI Dr. Raymundo より以下の資料入手
 - (1) Comparative Socio-economic Indicators (1 sheet)
 - (2) Total Population Size, Crude Birth and Death Rates and Total Fertility Rates for Selected Years (1 sheet)
 - (3) Trend in Infant, Child and Maternal Mortality and Life Expectancy 1930-1985 (1 sheet)
 - (4) Trend in Malnutrition, by Region and Targeted Areas, 1970-1985 (1 sheet)
 - (5) Trend in Leading Causes of Mortality, 1946-1984 (1 sheet)
 - (6) Trends in Leading Causes of Mortality, 1978-1984 (1 sheet)
 - (7) Demographic Indicators, : Family Planning Prevalence Rate, Crude Birth Rate by Region, Total fertility rate by region, Crude death rate by region, net migration rate by region (5 sheets)
 - (8) Population Issues and the Population Program. 8p.

- (9) Corazon M. Raymundo, The National Population Situation and Planning. 7p.
- (10) Corazon M. Raymundo, An Assessment of the Institutional Capability of Non-Governmental Organizations (NGO) in Population, July 1988. 33p.
55. Maternal Deaths by Main Causes, Percent Distribution, 1988. (図1枚)
56. USAID, Trends in Fertility in the Philippines: An Integrated Analysis of Four National Surveys, Final Report (Executive Summary), May 1988.
57. USAID Telexコピー (これは、1986 Contraceptive Prevalence Survey に誤りがあるとして、批評を加えたものである。) 6ページ
58. UNFPA より下記の資料を入手。
- (1) 1988 Population size and life expectancy. 2p.
 - (2) 1988 Estimated vital rates by province - CBR, CDR, IMR, TFR. 2p.
 - (3) 1985 Maternal mortality rate by province - MMR. 2p.
 - (4) Unemployment rate and visible underemployment rate by province, July 1987. 2p.
 - (5) 1980 Rural female literacy rate by province. 2p.
 - (6) 1980 Rural male literacy rate by province. 2p.
 - (7) Ratio of physicians and midwives to population by region 1978-86. 2p.
 - (8) Malnutrition rate, No. of children weighed, etc. by province, 1987
 - (9) Ratio of total number of families with annual income of P20,000 and below by province, 1985. 2p.
 - (10) 1987 Water supply status by province. 2p.
 - (11) Population, land area and density by region and province. 4p.
59. POPCOM-NCR, Glimpse of Smokey Mountain. 4p.
60. Population Education Program, Ministry of Education, Culture and Sports, A Module in Population Education for Elementary and Secondary School Teachers, 1985.
- I. Philosophy, Objectives and Content of population Education. 17p.
 - II. Demography: Components, Processes, Measures. 30p.
 - III. The Growth of Population: World and Philippines. 28p.
 - IV. Demographic Transition. 18p.
 - V. Population Composition: Age-Sex Structure. 23p.
 - VI. Determinants of Population Change. 31p.
 - VII. Population Distribution & Density. 18p.
 - VIII. Consequences of Rapid Population Growth. 30p.
 - IX. Human Sexuality and Reproduction, 1985. 26p.
 - X. Family Planning. 40p.
 - XI. Population Policies and Programs. 44p.
 - XII. Study of the Population Education Curriculum and PEP Materials. 29p.
61. PEP, Methods and Strategies in Population Education Training: A Handbook, 1986. 72p.
62. PEP, Module on the Value Clarification Approach in the Teaching of Population Education, 1985. 60p.
63. PEP, Module on the Inquiry Approach in the Teaching of Population Education, 1985. 35p.
64. The Institute of Maternal and Child Health (IMCH), Annual Report, January to December, 1987.

65. Alejandro N. Herrin, Population, Human Resources and Development: Towards a Consensus on Population Policy, (Paper prepared for the Roundtable Discussion on Population, Human Resources and Development Issues held 29 July 1988). 15p.
66. POPCOM, Country Paper: Philippines, (Seminar/Workshop on Family Planning/Maternal and Child Health Integrated Strategies: Sharing of Country Experiences, September 4-11, 1988

Table 7.1
MAJOR HEALTH, NUTRITION AND FAMILY PLANNING PROGRAM INDICATORS, 1986-92

Program indicators	Targets										Annual ave. growth rate
	Estimates 1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992				
No. of Barangay Nutrition Scholars	10,026	11,029	12,131	13,345	14,679	16,147	17,762				10.0
III. FAMILY PLANNING											
<i>Key Program Indicators</i>											
Family planning prevalence rate	36.6	38.1	39.6	41.1	42.6	44.1	45.6				-
Family planning effectiveness	82.4	83.2	84.0	84.7	85.3	85.9	86.5				-
<i>Support Indicators</i>											
No. of family planning clinics/service outlets	4,361	5,257	5,923	6,178	6,337	6,337	6,337				3.9
No. of program workers in place											
Medical/paramedical Community volunteer workers	13,101	15,771	17,769	18,534	19,011	19,011	19,011				3.9
Program support personnel	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000	52,000				-
No. of trained program workers	3,212	2,801	2,804	2,804	2,804	2,804	2,804				-
Medical/paramedical Community/volunteer workers	1,091	1,805	2,307	1,038	1,038	1,038	1,038				-5.4
Program support personnel	3,160	720	720	720	720	720	720				-
	1,011	1,790	1,859	2,450	2,955	2,950	2,950				11.2

Sources: MOH, PMCC, NNC, and POPCOM.

Annex 7.1
MAJOR IMPLEMENTING PROGRAMS AND PROJECTS, 1987-92

ANNEX 7.1 (Continued)

Program/Project Title	Objectives/Targets	Coverage	Clientele	GOP	Cost estimates (MM)		Lead Agencies
					Foreign	Local	
4. Other FNP Support Services	To ensure full implementation of the nutrition service delivery and advocacy program.	Nationwide	Program and policy implementors	506.42	242.8		NNC and member agencies
C. FAMILY PLANNING							
1. Adolescent Fertility Program	To address the fertility-related needs and problems of the Filipino adolescent with the end in view of helping achieve goals of reducing the incidence of early marriage and teenage pregnancies through counselling, IEC, and research activities.	Nationwide	Adolescents	15.7	69.0		POPCOM, public and private schools, NGOs
2. Population Education Program	To inculcate positive social and cultural values supportive of the population program, i.e., small family size and family welfare, responsible parenthood and delayed marriage.	Nationwide	In-school population	8.8	38.7		POPCOM, MECS, MSSD, NGOs
3. Family Planning Program	To ensure availability, accessibility and quality of family planning and FP-related services to all those desirous of limiting their family size.	Nationwide	Married Couples of Reproductive Age (MCRA's)	1013.3	1212.3		POPCOM, MOH, IMCH, FPOP, NGOs
4. Manpower Development Program	To upgrade or enhance the skills of program workers.	Nationwide	Program Professionals	8.0	35.3		POPCOM
5. Population Information Management and Dissemination Program	To promote awareness, acceptance and demand for program services through an extensive and systematic information system.	Nationwide	Adolescents, MCRA's, policy-makers, planners and program professionals	25.7	113.1		POPCOM, NEDA

Sources: MOH, PMCC, NNC, and POPCOM

表 4 - 1 - 3 公共投資計画の概要 (1988-92)

(単位: billion)

	Year	Foreign Exchange (US\$B)	Local Cost (PB)	Total (PB)	% of GNP
Actual	1987	0.232	12.650	17.642	2.49
	1988	0.735	21.253	37.057	4.60
	1989	1.017	26.558	48.296	5.28
	1990	1.173	31.405	58.671	5.62
	1991	1.078	41.406	67.670	5.66
	1992	1.137	50.931	79.803	5.83
1988-1992 TOTAL		5.140	170.632	291.497	5.47 (ave.)
1987-1992 REVISED TOTAL		5.372	183.283	309.139	5.12 (ave.)

表 4 - 1 - 4 公共投資計画—人口部門— (1988-92)

Public Investment Program
(In Thousand Current Prices) ver. 2A

SECTOR : Social Infrastructure and Other Public Works
SUB-SECTOR : Population/Health/Nutrition

page 45

		1988	1989	1990	1991	1992	Total 1988-1992	Later Years	
ONGOING/NEW									
SECOND AGUSAN IRRIGATION PROJECT	TP	602	-	-	-	-	602	-	
	P	-	-	-	-	-	-	-	
	\$	28	-	-	-	-	28	-	
BOHOL INTEGRATED AREA DEVELOPMENT	TP	3,623	6,086	11,050	-	-	20,759	-	
	P	1,967	3,269	6,354	-	-	11,590	-	
	\$	77	126	202	-	-	405	-	
POPULATION PROJECT	TP	125,495	169,896	223,064	295,803	394,944	1,209,203	-	
	P	125,495	169,896	223,064	295,803	394,944	1,209,203	-	
	\$	-	-	-	-	-	-	-	
Total, Ongoing/New		TP	129,720	175,982	234,114	295,803	394,944	1,230,564	-
		P	127,463	173,165	229,418	295,803	394,944	1,220,793	-
		\$	105	126	202	-	-	433	-

Chapter IV

IV. PROJECTS AND ACTIVITIES

The projects and activities described in this Chapter are in line with the strategies previously outlined. These projects and activities were identified through a series of consultative workshops conducted by the POPCOM secretariat and representatives of the participating agencies.

The projects and activities under the two thrusts are presented in accordance with the strategy to which they correspond. They may be located as follows:

A. The Family Planning and Responsible Parenthood Program

Strategy 1:

Improve the deployment and
quality of family planning)
service delivery system) Pages 31-34

Strategy 2:

Integrate the delivery of
nutrition, health care and)
family planning services) Pages 35-44

Strategy 3:

Strengthen and focus the
IEC and motivational efforts)
of the program to address) Pages 35-44
priority requirements)

Strategy 4:

Provide critical support
functions for strategies 1, 2)
and 3, specifically Manpower) Pages 45-49
Development and Logistics)

Strategy 5:

Develop a more relevant
research program and infor-)
mation bases) Pages 50-54

B. The Integrated Population and Development Program

Strategy 1:

Integrate population
concerns into various socio-)
economic plans, programs) Pages 55-56
and projects at all levels)

Strategy 2:

Strengthen the POPDEV
information and research)
base for policy making,)
decision making and imple-)
mentation of developmental)
projects)

Strategy 3:

Strengthen the IEC, motiva-)
tional, human resource)
development, logistics and)
other support for the pro-) Pages 61-72
motion of the different)
POPDEV concerns)

表 4 - 1 - 6 中期人口計画におけるプログラム(1989-93)

1. FAMILY PLANNING AND RESPONSIBLE PARENTHOOD PROGRAM

Strategy 1: Improve the deployment and quality of family planning service delivery system.

Strategy 2: Integrate the delivery of nutrition, health care and family planning services.

Projects/Activities	Beneficiaries	ANNUAL TARGETS/TIME FRAME					Background/Justification/Remarks
		1989	1990	1991	1992	1993	
MCRAS							
A. Provision of adequate clinic service coverage							
1. Expansion of service delivery outlets through	1989 - 9.2 M 1990 - 9.4 M 1991 - 9.7 M 1992 - 9.9 M 1993 - 10.1 M						
a) Establishment of additional FP clinics		171	131	136	144	155	To increase accessibility and availability of integrated health, nutrition and FP services. Additional service outlets will be established yearly, with priority given to areas with low FP prevalence rates and the service-depressed areas. It is expected that by the end of 5 years, all service outlets will be providing integrated services on health, nutrition and family planning. It is likewise proposed that the deployment of the mobile teams cover all provinces. To date, eight regions do not have complete provincial coverage. These are Regions 1, 2, 4, 5, 6, 9, 10 and 12.
b) Integration of FP services into existing service centers		25	50	100	75	-	
c) Integration of health services into existing FP clinics		all	all	all	all	all	
d) Deployment of additional CTTs/mobile teams		23	31	12	12	12	
2. Maintenance of existing service outlets	-do-	3,656	3,787	3,923	4,067	4,222	
DOH	2,144	2,191	2,251	2,318	2,392	2,475	
Other GOs	225	225	225	225	225	225	
DOLE	591	641	691	741	791	841	
NGOs	525	599	620	639	659	681	
	3,485						
3. Development of cost effective outreach schemes/models							Complementing the FP service delivery network is the program's motivational network. This consists of integrated volunteer workers such as the 51,000

JICA